

博文堂宛山本二峯書簡

——附徳富蘇峰宛山本二峯書簡——

下田 章平

はじめに

博文堂は、原田大観（二代目庄左衛門、一八五五—一九三八）が原田家の家督と庄左衛門の名跡を継承した書肆、出版社であり、明治四〇年代（一九〇七—一九二二）には美術書の出版や、中国書画碑帖を扱う美術商として活動を開始した。

山本二峯（一八七〇—一九三七）の名は悌二郎、齋号は澄懷堂、香雪書屋、蕉雪吟館、陶然居、宝宋堂、海山仙館。新潟県出身の実業家、政治家であり、田中義一内閣及び犬養毅内閣で農林大臣に就任している。また、山本悌二郎（二峯）『澄懷堂書画目録』（文求堂書店、一九三二）には山本二峯の中国書画コレクション一一七六件が記載され、その数量及び全時代の書画を網

羅的に収集した点においては、当時の中国書画碑帖収蔵家の代表格として挙げることができる。

ところで、博文堂関連資料は現在分蔵され、山本二峯関連では油谷達家旧蔵資料（個人蔵）を主とし、原田悟朗家旧蔵資料（行田市郷土博物館所蔵）にも見られる。このほかにも、関連する徳富蘇峰記念館（神奈川県中郡二宮町）に所蔵される徳富蘇峰（一八六三—一九五七）宛山本二峯書簡（八通）も見られる。

油谷達家旧蔵資料は、全九函（うちⅢは影印本）あり、函ごとにWAからWIの整理番号が現所蔵者によってつけられている。そして、Ⅲ以外は人物ごとに書簡が貼り付けられた卷子の状態で保管されている。博文堂宛山本二峯書簡は、Ⅲに収納された全五卷である。標題は「山本二峯先生尺牘第一卷」のように記され、第

六巻まで見られるが、このうち第五巻が欠如している。また、原田悟朗家旧蔵資料は、行田市郷土博物館編『行田市郷土博物館収蔵資料目録 原田庄左衛門家資料目録』（同館、二〇二二）として整理され、博文堂宛山本二峯書簡はBやCで始まる整理番号に見られる。このうち、「諸先生知人之尺牘」（C-35、コクヨのA四フラットファイル）に二通、「山本二峯先生尺牘」（C-36、同前）に三通あり、いずれも油谷達家旧蔵資料の五通を複写したもの（P・P・C複写機による）である。このことは、博文堂関連資料が従来一具のものとして保管され、少なくとも戦後になって原田大観の子息間で分割されたものと推定される。以下、油谷達家旧蔵資料、原田悟朗家旧蔵資料に所蔵される関連資料の件数を記しておきたい。

大正四年（一九一五）一通、大正五年（一九一六）二七通、大正六年（一九一七）一六通、大正七年（一九一八）二通、大正八年（一九一九）二通、大正十二年（一九二三）三通、大正一五年（一九二六）一通、昭和二年（一九二七）一通、昭和七年（一九三二）以後一通

博文堂宛山本二峯書簡の分析によって、従来あまり検討されてこなかった、大正年間（一九二二―一九二六）

における山本二峯コレクションの形成過程や収蔵態度、山本二峯の東京における収蔵界との関わりが解明され、延いては大正期における日本への中国書画の流入経路も明らかになることが期待される。この点に関しては、別稿で発表したい。

一 凡例

- ・ 便宜的に稿者が整理番号を附し、所蔵者による整理番号も明示した。
- ・ 表記に関しては、引用文献も含めて常用字体を使用し、人名は通称とする。
- ・ 資料の表記は現行のものと異なり、統一性に欠けるもののすべて原文のままとする。また、山本二峯特有の表記や、衍字、脱字、誤記などが散見するため、「」に稿者が注記した。なお、書簡には訂正が見られるものもあるが、訂正前の記述は逐次示さない。
- ・ 改行は「／」、判読できなかった文字は□で示し、判読できない文字で推定可能なものは文字を囲って示した。「」には注記のほかに、稿者が補足した語句も記す。

・資料の作成年月日は基本的に資料本体に記されている場合は原則としてそのまま用い、そうでない場合は、消印や内容から判断できる場合のみ、備考欄にその旨記した。

・個人所蔵本は、原件（オリジナル）には差出年月日が前後するものが見られるため、その順序を正した。もとの順序は所蔵者による整理番号を参照されたい。

・個人所蔵以外の書簡に関しては、寸法を記した。封筒は読む際に切り取られ、封書もサイズが一定でない場合が多い。そこで「封筒外寸」、「封書本紙外寸」は最も長い部分の残長を記した。

二 翻刻

1 大正四年（一九一五）一〇月二日（WH2-001-1）

・消印 三田／4.10.2／后10-12

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿〔300 200と鉛筆で書入あり〕

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正〔一字アキ〕年十月二日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔「山本用箋」使用、以下墨書〕原〔田〕君／山本〔二峯〕／御送付の書画五点今晚到着披見致候／皆々結構の品尔〔に〕御坐候余り高価尔〔に〕あらざる／限り小生引受け申度存候間代価の処御一／報被下度候／廉泉との談判大抵の処まで者〔は〕／御任せ申寿〔す〕／べく候間宜しく御願申上候／何日頃再び御上京相来べきや小生出立の／都合も有之候間此書面御落手次第御一電願上候／〔欄外に、「明治〔一字アキ〕年十月二日」日付のみ墨書、他は印字〕とあり〕

・備考 差出年は消印による。

2 大正五年（一九一六）一月二日（WH2-01-2）

・消印 三田／5.1.2／后3-4

大阪川口／5.1.3／前□-10

・封筒表書〔朶雲軒製、以下墨書〕大阪市西区靱上通二丁目／博文堂ニテ／原田大観殿

・封筒裏書 □〔封緘の朱文方印あるが判読不能〕東京芝区三田台町／一・二／山本悌二郎〔二峯〕

・本文〔以下墨書、栄宝斎製、一枚目〕大正五年一月二日／新春の嘉慶芽出度申納候／旧臘中者〔は〕事業中の俗用やら政事上の混雑やら／尔〔に〕て碌二飯食

ふ暇さへ無之毎日朝可〔か〕ら深更迄／追ひ廻者〔は〕され居り候為めトント御無沙汰致候御送り／下されし九龍山人〔王紱〕沈石田〔周〕呉梅村〔偉業〕等上海改装／の分見事尔〔に〕出来上り満足仕候殊尔〔に〕黄鶴山樵〔黄公望〕／者〔は〕蠹蝕の繕ひ申分無之サスガ有名の腕前／唯々感服の外無之候唯多〔だ〕慾を言へ者〔ば〕幅の長サ／〔二枚目〕モウ少々伸びても宜し可〔か〕りしと思へども是者〔は〕普通／の日本床ならば無論差支無之候京都尔〔に〕て改／装せし湯雨生〔貽汾〕も上出来なり是れならば一通りの／もの者〔は〕京都尔〔に〕て沢山と存候種々御手数の段／茲尔〔に〕改めて御札申上候／御送付の惲南田〔寿平〕山水大幅下方尔〔に〕シミある者〔は〕／玉尔〔に〕瑕なれども出来者〔は〕誠尔〔に〕宜しきものと見受／け申候〔内藤〕湖南〔長尾〕雨山諸君も無論賛成の事／なるべきも如何尔〔に〕や／〔三枚目〕御手元へ預け置き候ふ羅〔振玉〕氏へ題簽依頼の分／乍御手数可成早く御取計被下度候尚又旧／曆歳暮として羅〔振玉〕氏へ金品の贈呈尔〔に〕ても必要／ならば御申越被下度候／上海改装の勘定幾何尔〔に〕相成り候や先般／送付の分尔〔に〕ては不足可〔か〕と存候御序の

節御問合／せ被下度候 勿々／原田〔大観〕賢台 山本〔二峯〕

3 大正五年（一九一六）一月五日（MH2-001-3）

・ 消印 三田／5.1.5／后0-1

大阪川口／5.1.6／〔判読不能〕

・ 封筒表書 〔以下墨書〕大阪西区靱上通三〔二〕丁目博文堂ニテ／原田大観殿

・ 封筒裏書 〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正五年正月五日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・ 本文 〔山本用箋〕使用、以下墨書、一枚目〕原田〔大観〕賢台／拝啓魏之墳の巻到着披見仕候面白可〔か〕らざる尔〔に〕あら／ざるも別段冀望の品尔〔に〕も無之候間御返送申上候御請／取可被下候／王石谷〔翬〕画卷〔羅〔振玉〕氏より譲受けし分〕何と無く持／心宜し可〔か〕ら寿〔ず〕上野〔理二〕君あ多〔た〕り尔〔に〕冀望無之やソレと無く／御問合せ被下度代金者〔は〕イツ尔〔に〕ても差支無之又多〔た〕都合／尔〔に〕依りては一部分品物と交換しても宜しく候上野〔理二〕君所望無くば讃岐大西〔見山〕君あ多〔た〕

りへ御問合せ被下度候現品必要ならば御申越次第何時
 尔〔に〕ても御手元迄御送／り可申候尤も羅〔振玉〕
 氏の跋文尔〔に〕小生〔山本二峯〕の姓名を記入しあ
 り／〔欄外に、明治〔大正〕五年正月五日〕〔日付の
 み墨書、他は印字〕とあり／〔二枚目〕先方へ交渉
 の時者〔は〕此点御注意可被下候山本〔二峯〕者〔は〕
 氣／變のし易き人尔〔に〕て少し友人尔〔に〕でも何
 と可〔か〕批評さるれ者〔ば〕如何なる名品尔〔に〕
 てもスグ厭や尔〔に〕なりて売出寿〔す〕／癖ありと
 でも申置可然と存候呵々／黄鶴山樵〔黄公望〕九龍山
 人〔王絨〕唐六如〔寅〕等羅〔振玉〕氏へ題籤又者〔は〕
 題跋を依頼し多〔た〕き品数点有之候へども先般依
 頼残りの分相済み候後尔〔に〕致し候方可然可〔か〕
 と存じ／差控へ居り候次第就ては先便尔〔に〕も申上
 候通り／御手元尔〔に〕残り居る分可成取急ぎ羅〔振
 玉〕氏へ御申込／被下度候／小生〔山本二峯〕者〔は〕
 明日より伊豆伊東へ旅行九日頃帰京の／予定尔〔に〕
 御坐候 勿々〔欄外に、明治〔一字アキ〕年〔二字ア
 キ〕月〔一字アキ〕〕〔すべて印字〕とあるが、年月日
 の記載なし〕

4 大正五年（一九一六）一月一日（WH2-001-4）

・消印 三田／5.1.10／后□-1

大阪川口／5.1.11／前7-8

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文
 堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、メのみ墨書〕メ／大
 正〔一字アキ〕年一月十日／山本悌二郎〔二峯〕／芝
 区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔山本用箋〕使用、以下墨書、一枚目〕原田賢
 台〔大観〕山本〔二峯〕／御書面三通拝読仕候／王石
 谷〔鞏〕巻本日發送致候間御查收可被下候／魏之璜卷
 發送方小生〔山本二峯〕旅行前申付け置き候処昨／夜
 帰宅し見れ者〔ば〕未多〔だ〕其の運び尔〔に〕到り
 居ら寿〔ず〕依つて／是亦本日發送致させ候間御請取
 可被下候／御申越の書画五点の中傳山を除き残り四点
 者〔は〕／兎も角も一応拝見致度候御送り被下度候／
 右書画の所有主の事者〔は〕東京尔〔に〕てもポツ々々
 評判／あり書籍類をも売却以多〔いた〕し居る趣田中
 文求／堂など風聞以多〔いた〕し居り候小生〔山本二
 峯〕者〔は〕絶対秘密尔〔に〕致し〔欄外に、明治〔一
 字アキ〕年一月十日〕〔日付のみ墨書、他は印字〕と

あり〕〔二枚目〕居り候間御安心可被下候文求堂の話
尔〔に〕同氏所有／品の中尔〔に〕も書幅類もある筈
なりとの事は者〔は〕御序／の節御問合せの上御通知
願上候／来る十五日十六日の両日上野韻松亭尔〔に〕
て羅〔振玉〕氏の／法帖類売却展観会開催の由当地の
評判／尔〔に〕ては到底沢山者〔は〕売れ間敷との事
なりヤハリ／書画ならでは纏まり多〔た〕る金の調達
者〔は〕六ヶ敷可〔か〕らむ／と小生〔山本二峯〕供
も觀察致居候〔欄外に〕「明治〔一字アキ〕年〔一字
アキ〕月〔一字アキ〕〔印字〕とあるが、年月日の記
載なし」

・備考 差出年は消印による。

5 大正五年（一九一六）一月一日（WH2-001-5）

・消印 三田／5.1.12／后10-12

大阪川口／5.1.13／后9-10

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文
堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大
正〔一字アキ〕年一月十二日／山本悌二郎〔二峯〕／
芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔山本用箋〕使用、以下墨書、一枚目〕原田〔大
観〕君 山本〔二峯〕／拝啓御送付の沈石田〔周〕李流
芳米万鍾仇実父〔英〕の四点／到着拝見仕候前三点者
〔は〕別段感服寿〔す〕る程の品尔者〔には〕／無之
候二付明日御返送可申上候仇英の巻者〔は〕多少従来
／有りふれ多〔た〕る古渡り仕入レ物と者〔は〕異な
り見るべき処無／き尔〔に〕しもあら寿〔す〕是れ者
〔は〕モウ少々研究致度存候二付両三日／御貸与可被
下但し余り高価のもの尔〔に〕て者〔は〕他尔〔に〕
も欲しき品／沢山の折柄故へ見合寿〔す〕の外有之間
敷結局者〔は〕値段の間／題と存じ候二付代価の処御
一報被下度候／備後〔西備〕銀行家所蔵書幅の件二付
先便申上げ置き候処／右者〔は〕小生〔山本二峯〕の
耳違ひ尔〔に〕て王元章尔〔に〕て者〔は〕無之米。芾
の巻／〔欄外に〕「明治〔一字アキ〕年一月十二日」〔日
付のみ墨書、他は印字〕とあり〕／〔二枚目〕なる由
其の外尔〔に〕文。徴。明。の。墨。竹。の。軸。な。ぞ。も。有。之。筈。と。の。事
／米芾者〔は〕貴藏の分第一多〔た〕るは何人も異存
無之処なれ者〔は〕／何れ其の中御相談致度存居り候
へども其れ者〔は〕其れと／して備後の米芾者〔は〕
値段も大し多〔た〕事尔者〔には〕無之由二付／不取

敢交渉を試み度存じ候次第御坐候文徴明／の竹も面白きもの、由是亦御問合せ願者〔は〕れ間敷や尤も／ソレモ是れも方外尔〔に〕高価尔〔に〕ては小生〔山本二峯〕の手尔者〔には〕合ひ兼ね／候へ共其の辺者〔は〕貴君〔原田大観〕の方寸尔〔に〕存し候事と存じ候儘／一応御依頼申上候次第尔〔に〕御坐候／勿々〔欄外に〕、「明治〔一字アキ〕年〔一字アキ〕月〔一字アキ〕」〔印字〕とあるが、年月日の記載なし）

・備考 差出年は消印による。

6 大正五年（一九一六）一月十八日（MH2-001-6）

・消印 東京中央／5.1.18／后6-7

大阪川口／5.1.19／后0-1

・封筒表書〔以下墨書〕 大阪西区靱上通／二丁目博文堂／原田大観殿

・封筒裏書 メ／東京芝区三田台町／二一／山本悌二郎〔二峯〕／十八日

・本文〔以下墨書〕 拝啓御書面尔〔に〕依り本日／憚南田〔寿平〕山水大幅鉄道便／尔〔に〕て御送付以多〔いた〕し候間御查收／被下度実者〔は〕此幅者〔は〕東京尔〔に〕ては未多〔だ〕何人尔〔に〕も見

せざれ／ども先日偶然薄井小蓮〔龍之〕／翁来訪の節掛け多〔た〕りし／処同翁の意見者〔は〕ヤハリ書／の宜し可〔か〕らざる事及筆意／尔〔に〕南田〔憚寿平〕の特徴少き事等を／以て高価尔〔に〕ては考物なりとの／事なりしも小生〔山本二峯〕者〔は〕尚ほ研／究の余地あるものとして留置／き候次第尔〔に〕御坐候／右の外空キ箱一箇同便／尔〔に〕て御送り申候是れ者〔は〕先達／手の文。嘉筆琵琶行／の画幅の箱尔〔に〕て〔内藤〕湖南君／の題字あり然る尔〔に〕同君誤／つて文。三橋〔彰〕琵琶行卷／と書付け多〔た〕り是れ者〔は〕序の／節書キ直ほし貫ひ度／依て御手元迄御送付申／上候次第宜しく御取計／被下度候／羅〔振玉〕氏法帖展観会も／十五日十六日の両日尔〔に〕て終／了点数尔〔に〕て三割以上／売れ多〔た〕る模様小生〔山本二峯〕者〔は〕法／帖者〔は〕ヤラヌ方なれども御付／合ひ尔〔に〕宋拓麻姑仙壇小／字本米芾章吉老墓誌等二三点購入致し／中村不折君者〔は〕二十点余／も買取り候／勿々／山本〔二峯〕／原田〔大観〕君／古甲上人画〔方〔法〕若真賛〕／尔者〔に〕は〕貴君〔原田大観〕より買取の当時／羅〔振玉〕君の題籤ありし様／記憶寿〔す〕然る尔〔に〕一両日前

黙／檢せし尔〔に〕 見当らむ右題籤／貴君〔原田大観〕御手元尔〔に〕 残り居ら／寿〔ず〕や御改め被下度候／仇英卷余り面白きもの／尔者〔には〕あらざれども偽蹟尔〔に〕て者〔は〕／あらざる可〔か〕如し併し六百五／十円者〔は〕少々恐入る値段／故へセメテ四百円位尔〔に〕な／らぬもの可〔か〕先方へ御交渉／出来間敷や

・備考 差出年月は消印による。

7 大正五年（一九一六）一月十一日（WH2-001-7）

・消印 三田／5.1.22／后10-12

大阪川口／5.1.23／后9-10

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正〔一字アキ〕年〔一字アキ〕月廿二日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番
・本文〔山本用箋〕使用、以下墨書 原田〔大観〕君 山本〔二峯〕／拝啓石谷〔王翬〕巻首尾善く参らざる由是非も無き次／第就ては貴〔原田大観〕蔵の書画と交換云々の御案尤も／妙と存候石谷〔王翬〕巻者

〔は〕ドウセ若干の損者〔は〕覚悟の前／なれ者〔ば〕値段の処者〔は〕如何様尔〔に〕も御相談可仕候二付兎／も角も貴〔原田大観〕蔵書画目録値段御一報を煩し度候／其上尔〔に〕て目欲しきもの実物拝見可仕候／羅〔振玉〕君法帖売上金者〔は〕三千円ほど尔〔に〕相成候由〔中村〕不／折君の外尔者〔には〕三井〔高堅〕菊池〔惺堂〕等三四人の人々少しづ、買取／り候由文求堂者〔は〕明日出發上海へ渡航の筈なり／勿々〔欄外に、「明治〔一字アキ〕年一月廿二日〕〔日付のみ墨書、他は印字〕とあり〕

・備考 差出年は消印による。

8 大正五年（一九一六）一月六日（WH2-001-8）

・消印 三田／5.2.7／前9-10

大阪川口／5.2.8／后8-9

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通り二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正〔一字アキ〕年二月六日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番
・本文〔山本用箋〕使用、以下墨書、一枚目 拝啓御

送付の書画拝見致候中程孟陽〔嘉燧〕山水卷／文徵明
 錢叔室〔谷〕書画合卷の二点を除き其余者〔は〕／全
 部御返送致し候間御落手可被下候／王石谷〔翬〕卷者
 〔は〕一先づ売却見合せ候事尔〔に〕致候間／御序の
 節御返送被下度候／文徵明錢叔室〔谷〕合卷者〔は〕
 二百円位程孟陽〔嘉燧〕も同じく／二百円位尔〔に〕
 御見切り相叶ひ申間敷や尤も文徵／明錢叔室〔谷〕合
 卷者〔は〕之を分割して錢叔室〔谷〕の画者〔は〕御
 返／戻以多〔いた〕して差支無之候余り安く値切る様
 なれど／是非所望と云ふ品尔〔に〕も無之候へ者〔ば〕
 随て値段の処も／余り格外の奮発も致兼ね候次第尔
 〔に〕有之御一考／〔二枚目〕可被下候／仇英卷の値
 引きの事及米芾書卷の件者〔は〕／其後如何成行き候
 也／勿々／山本〔二峯〕／博文堂／原田〔大観〕賢台
 ／〔一、二枚目の欄外に、〕大正〔二字アキ〕年〔二字
 アキ〕月〔二字アキ〕日とあるが、年月日の記載なし〕
 ・備考 差出年は消印による。

9 大正五年（一九一六）二月一〇日（WH2-001-9）
 ・消印 三田／5.2.11／前10-11

大阪川口／5.2.12／前8-9

・封筒表書〔以下墨書〕大阪市西区靱上通り二丁目／
 博文堂／原田大観殿
 ・封筒裏書〔以下印刷、日付、〔メ〕のみ墨書〕メ／大
 正〔一字アキ〕年二月十日／山本悌二郎〔二峯〕／芝
 区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番
 ・本文〔山本用箋〕使用、以下墨書〕原田〔大観〕君
 山本〔二峯〕／御手帑〔紙〕拝読文徵明卷程孟陽〔嘉燧〕
 卷合せて六百五／十まで値引き被下候由是れ者〔は〕
 普通なら者〔ば〕無理の／値段段尔者〔には〕無之候へ
 共此際冀望と申寿〔す〕次第尔〔に〕も／無之候二付
 一先づ見合せ申度候仇英卷も同様尔〔に〕／御坐候就
 て者〔は〕右三点御返送申上候間御落手可被下候／昨
 夏大学講演の砌、羅〔振玉〕、氏より出陳せし趙之謙
 の設色花卉大幅者〔は〕譲与の意無きや御序の節ソレ
 ／と無く御問合せ被下度候／王石谷〔翬〕御返送下さ
 れ正尔〔に〕落手仕候／勿々／〔欄外に、〕大正〔二字
 アキ〕年二月十日〔日付のみ墨書、他は印字〕とあり

10 大正五年（一九一六）三月四日（WH2-001-10）
 ・消印 門司／5.3.4／前8-10

大阪川口／5.3.6／前9-10

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下墨書〕メ／門司ニテ／山本悌二郎〔二峯〕／〔以下印字〕（大阪商船株式会社船客用）

・本文〔大阪商船株式会社船客用箋〕使用、以下墨書、一枚目〕拝啓／神戸尔〔に〕ての書画代金千百二十円也／東京より送金方申送り置き候二付／書面着次第廻金の筈尔〔に〕御坐候／改装の爲め御依頼せし沈宗鶯／山水の幅者〔は〕改装の前尔〔に〕一応羅〔振玉〕君／なりへ御見せ被下度画者〔は〕上出来なれ／ども書者〔は〕余り感心せ寿〔ず〕若し京都／諸君の非認寿〔す〕る処となり多〔た〕らば／〔二枚目〕改装者〔は〕一時御見合被下度候／海瑞書簡見当り次第神戸石／塚へ至急御送り願上候／長尾〔雨山〕君李東陽の巻四百五十円／位の処尔〔に〕て如何のもの尔〔に〕や／羅〔振玉〕君饒介之〔介〕の巻者〔は〕此際是非一／応御交渉可被下候／山本〔二峯〕／原田〔大観〕君

・備考 差出年は消印による。

11 大正五年（一九一六）二月二一日（WH2-001-11）

・消印 三田／5.3.31／后7-8

大阪川口／5.4.1／后4-5

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、メ〕のみ墨書〕メ／大正（「一字アキ」）年三月卅一日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話五五四三番

・本文〔以下墨書〕拝啓羅〔振玉〕氏書画の件尔〔に〕付過日来／度々御手数相掛け恐縮尔〔に〕存候本目者〔は〕新事業会社の払込／等幅叢〔輻輳〕以多〔いた〕し居り候故書画／の支払者〔は〕月越しての後尔〔に〕致度／旨勘定方よりの申出も有之即ち／其趣予め御通知致させ候次第／尔〔に〕有之然る尔〔に〕本日の手帋〔紙〕尔〔に〕依れ者〔ば〕羅〔振玉〕氏突然帰京代金／急の間尔〔に〕合者〔は〕ね者〔ば〕品物取戻寿〔す〕／事と相成り候趣尤も品物者〔は〕／昨日御電信の次第も有之本日／御書面到着以前全部発／送以多〔いた〕し候二付此書面二同時／頃尔〔に〕御落手可相成存候元来／書画愛玩者〔は〕一種の雅道故へ／金錢上の事尔〔に〕て取るの遣るの／とゴタ、致し

候事者〔は〕甚多〔だ〕／不本意千万ニ付代金支払／可〔が〕数日延引寿〔す〕るとて品物を取／戻寿〔す〕と可而可〔か〕も三日間内尔〔に〕返／戻せよと可〔か〕云ふ如くソレ程尔〔に〕／羅〔振玉〕氏の斯道ニ関寿〔す〕る觀念小生〔山本二峯〕／等と相違以多〔いた〕し居り候以上者〔は〕／何を申寿〔す〕も無益と存じ候へ共／羅〔振玉〕氏の体度の面白可〔か〕らざる者〔は〕別／問題として此際支払期日の間／題尔〔に〕て品物を取戻され多〔た〕りとあり／て者〔は〕小生〔山本二峯〕の体面上余り香しき／次第尔〔に〕も無之候ニ付羅〔振玉〕氏の尤も／珍重寿〔す〕る饒介書卷を除き／値段次第尔〔に〕て者〔は〕アトの沈石田〔周〕／李流芳の二卷又者〔は〕二卷の中／一卷尔〔に〕ても即金支払尔〔に〕て引取り／此の事件を奇麗尔〔に〕終結致／して者〔は〕如何との考より此旨唯今／電信尔〔に〕て御照会申上候次第尔〔に〕／御坐候併し是れとても強以〔い〕て／と申寿〔す〕次第尔〔に〕も無之又多〔た〕余り／小生〔山本二峯〕の認定尔〔に〕て不相当と思者〔は〕る、／値段尔〔に〕て者〔は〕御免を蒙る以外無之／候間右様御含置被下度候／書画者〔は〕前述の如く一種の／道楽多〔た〕る以上其の

売買も一／般普通の商品と異なり多／少延取引の如き手加減無／くてはトテも買切れるもの尔〔に〕無之／マサカ必要の支出支払をソツチ／除ける〔に〕して書画のみ尔〔に〕就る訳尔〔に〕も／参る間敷況むや小生〔山本二峯〕等の分／限として一時の四千五千と云ふ可〔が〕／如き買物を為寿〔す〕尔〔に〕当りては尤も／此の必要を感じ候次第尔〔に〕有之／小生〔山本二峯〕も十四五年來書画尔者〔には〕浮／身をヤツし候へ共非商売／人としては未多〔だ〕嘗て羅〔振玉〕氏の如き／現金の人尔〔に〕出逢ひ多〔た〕る事無之／習慣觀念を異尔寿〔にす〕る異邦／の人と思へ者〔ば〕ソレ迄なれども実者〔は〕／少々驚入り居り候事尔〔に〕御坐候／就て者〔は〕将来又々斯の如き不／愉快尔〔に〕遭遇寿〔す〕るの危険を／避くる可〔が〕為め今日より以降者〔は〕／羅〔振玉〕氏の品物尔〔に〕対しては如何／なる名品尔〔に〕ても所望せぬ事尔〔に〕／決心以多〔いた〕し候間貴方〔原田大観〕よりも同／氏〔羅振玉〕の品物者〔は〕一切小生〔山本二峯〕へ御見せ／被下間敷候是れ者〔は〕決して憤／懣の為め尔〔に〕あら寿〔ず〕唯々将来の／紛紜を避けん可〔が〕為め尔〔に〕外なら寿〔ず〕／

御含置可被下候 勿々／三月卅一日 山本〔二峯〕／
原田〔大観〕君

・備考 差出年は消印による。

12 大正五年（一九一六）四月九日（WH2-001-12）

・消印 〔破れにつき判読不能〕／5.4.9／后2-3

大阪川口／5.4.10／前10-11

・封筒表書 〔以下墨書〕大阪西区靱上通り二丁目／博
文堂／原田大観殿

・封筒裏書 〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大
正（「一字アキ」）年四月九日／山本悌二郎〔二峯〕／芝
区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文 〔山本用箋〕使用、以下墨書、一枚目〕原田〔大
観〕君 山本〔二峯〕／拝啓御書面拝見御依頼致せし
四幅の中張得／天〔照〕者〔は〕羅〔振玉〕氏のみ通
過他者〔は〕／一同非認の趣実者〔は〕自分な／可〔が〕
ら少々臭き品と認め候為め京都諸君の意見／を求め候
次第然る尔〔に〕張得天〔照〕多〔だ〕け尔〔に〕て
も及第以多〔いた〕し／候事望外の仕合尔〔に〕存候
御手数奉謝候／姚姬田〔伝、姚簾〕のタシカなもの長
尾〔雨山〕君所持の趣余り高価／ならざれ者〔ば〕讓

受け度御序の節御照会被下度候／先達手羅〔振玉〕君
より所望せし趙之謙四幅対の画／と同様の品上海尔
〔に〕ありとの説此頃耳尔以多〔にいた〕し候是も／
例の石谷〔王輦〕巻同様果して事実なりや又多〔た〕
事実と／〔二枚目〕しても必寿〔ず〕しも当方の品
可〔が〕摸本なりとも断じ難き／候へ共同じ様なもの
可〔が〕外尔〔に〕あると云ふ風説ソレ多〔だ〕け尔
〔に〕／ても何と無く心持宜し可〔か〕ら寿〔ず〕依
て是者〔は〕売却致し度く候間京坂地方尔〔に〕て
所望の人無きや御心掛け／置き被下度候度々コンナ事
致し候ては山本〔二峯〕の／手より名品を引出寿尔〔す
に〕は上海あ多〔た〕り尔〔に〕同一品あり／との風
説を立つれ者〔ば〕直ち尔〔に〕其の目的を達寿〔す〕
べしなぞと／云ふ事となり一派の策士尔〔に〕乗せら
る、事も将来／往々出来可申歟御一笑可被下候／内藤
〔湖南〕君嘗て右趙之謙画幅所望なりし様尔〔に〕／
聞及び居り候果して事実ならば四幅全部又者〔は〕／
其の中二幅多〔だ〕け尔〔に〕ても何可〔か〕内藤〔湖
南〕君所有の品と／〔三枚目〕交換以多〔いた〕して
も宜しく差詰め内藤〔湖南〕君の張得／天〔照〕二幅
の中何れ可〔か〕一幅と趙之謙二幅との／交換なぞ者

〔は〕如何のもの〔に〕や尤も是者〔は〕上海〔に〕同様／の品ありとの風説を同君〔内藤湖南〕尔〔に〕打明けての相談多〔た〕／るべき者〔は〕勿論の儀尔〔に〕御坐候／黄小松〔易〕錢鐔石〔載〕姚姬田〔伝〕姚鼐の三点者〔は〕御序の節御送／還被下度張得天〔照〕者〔は〕暫時御預り置き被下度候／守永〔友永霞峯〕の祝允明書卷二百四位置なり取置きても／宜しく王石谷〔輦〕幅者〔は〕不用尔〔に〕御坐候／勿々／〔便箋三枚ともに、欄外に、「大正〔一字アキ〕年〔一字アキ〕月〔一字アキ〕日〔印字〕とあるが、年月日の記載なし〕

・備考 差出年は消印による。

13 大正五年（一九一六）五月一日（WH2-002-1）

・消印 三田／5.5.13／后0-1

大阪川口／5.5.14／前8-9

・封筒表書〔以下墨書〕大阪市西区靱上通／二丁目博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正〔一字アキ〕年五月十二日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕拜啓／〔内藤〕湖南君所蔵の張得天〔照〕書幅／錢謙益書幅及本日到着の／劉石菴〔壩〕横披合計三点／譲受の事尔〔に〕決定致度候／代金者〔は〕三点尔〔に〕て何程尔〔に〕相成り／候也御一報被下度候／守永〔友永霞峯〕の祝允明卷相当の／処尔〔に〕て手放寿〔す〕奇〔氣〕なきや序／の節同人へ御問合せ置き下／され度候／丸山〔円山淳一〕者〔は〕モハヤ埽坂〔大阪〕以多〔いた〕し／候事と存候何可〔か〕手答へのある／所持参せ寿〔ず〕や／〔長尾〕雨山君何日頃上京の／御都合なりや／昨日可〔か〕一昨日御依頼せし／羅〔振玉〕へ題簽委嘱の品／〔京都田中君〔寸紅堂〕手元より引取／る分〕の中尔〔に〕て既尔〔に〕羅〔振玉〕／君の題簽又者〔は〕題跋ある／もの者〔は〕重ねて依頼の必要／無之候間コレ者〔は〕当方へ御送／り被下度候／勿々／十二日 山本〔二峯〕／原田〔大観〕君

・備考 差出年は消印による。

14 大正五年（一九一六）五月一日（WH2-002-2）

・消印 三田／5.5.18／〔判読不能〕

大阪川口／5.5.19／后9-10

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正（「一字アキ」）年五月十二日／山本悌二郎（「二峯」）／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕拝啓御書面尔〔に〕依り〔内藤湖南氏／の三品代価七百円より趙之／謙代金三百円差引き残り／四百円不日送金可仕候／友永（霞峯）氏の祝允明卷小栗（秋堂）／の手尔〔に〕渡寿〔す〕は残念ニ付四百／円尔〔に〕ても手放さ寿〔ず〕とあればソレ／以上尔〔に〕ても致方有之間敷先づ／四百以上五百以下位の処ならば／御交渉可被下候／憚南田〔寿平〕画冊の中花卉者〔は〕／精品なれども山水者〔は〕ソレ程／銘心の出来尔〔に〕ては無之併志〔し〕／是も値段次第尔〔に〕て更尔〔に〕一／考の余地無之尔〔に〕もあら寿〔ず〕小生〔山本二峯〕の／胸算を無遠慮尔〔に〕申せ者〔ば〕／五六百円の処ニ存候／題跋題簽の爲め本日〔長尾〕雨／山君宛尔〔に〕て書画数十点／送付以多〔いた〕し置き候出来上り／候者〔は〕ゞ御手数恐入り候へ共／〔長尾〕雨山君より受取り当方へ／御返送被下度候／丸山〔円山淳一〕の楊

文聡〔聰〕書卷モハヤ／善以加減の処尔〔に〕て手放寿〔す〕事／尔〔に〕致されて者〔は〕如何可〔か〕と存候御序／の節御話被下度当方の考者〔は〕／四百円前後尔〔に〕御坐候／伊達家の入札〔大正五年五月一六日の仙台伊達家御藏品入札第一回〕尔者〔には〕唐人物／五六点ありしも皆な贋物／尔〔に〕あら寿〔ず〕ん者〔ば〕善以加減の品／ソレ可〔が〕数千円又者〔は〕一万近く／尔〔に〕落札驚入り候御茶人／の文盲今更な可〔が〕ら唯々舌／を捲くのみ尔〔に〕御坐候／十八日 山本〔二峯〕／原田〔大観〕君 備考 差出年は消印による。

15 大正五年（一九一六）五月十七日（WH2-002-3）

・消印 三田／5.5.27／前10-11

大阪川口／5.5.28／后8-9

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正（「一字アキ」）年五月廿七日／山本悌二郎（「二峯」）／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番
・本文〔以下墨書〕拝啓宗〔宋〕濂の件に付御申聞の

趣／拝承〔長尾〕 雨山君も嗜癖の／程度尔〔に〕於ては小生〔山本二峯〕同様なれ者〔ば〕 小生可〔が〕該品を冀望寿〔す〕ると同じく／〔長尾〕 雨山氏者〔は〕又多〔た〕之を手放志〔し〕／難き訳合なるべく随て無／理尔〔に〕割愛を申込め者〔ば〕勢ひ／相談の出来ぬ値段尔〔に〕ても／云放ちて断念せしむるの外／な可〔か〕るまじく斯く迄同君の／愛玩寿〔す〕るものを全力尔〔に〕飽可〔か〕／して引取らむと寿〔す〕る者〔は〕雅道を／傷くる甚しきものと存じ候／ニ付本件者〔は〕キツパリ断念／致し候間〔長尾〕 雨山氏へも宜しく御申伝被下度候／五時般〔半〕 正尔〔に〕落手不日決／着の御返辞可申上候／勿々／廿七日／山本〔二峯〕／博文君〔原田大観〕

・備考 差出年は消印による。

16 大正五年（一九一六）六月一日①（WH2-002-4）

・消印 三田／5.6.1／后6-7

大阪川口／5.6.2／后5-6

・封筒表書〔以下墨書〕 大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「×」のみ墨書〕 ×／大

正（「一字アキ」）年六月一日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕 拝啓祝枝山〔允明〕 黄庭経臨／書有之候由値段次第尔〔に〕て／ホシキものと存候差支無くば／御郵送被下度其の上尔〔に〕て／決定可仕候／羅〔振玉〕 氏所有宋拓黄庭経／拓本入手一見仕候宋拓可〔か〕／ドウ可〔か〕 黄庭経なぞ尔〔に〕到りて者〔は〕／専門家と雖判断尔〔に〕 苦む／ものなれどもマヅ可なりの品／と見受け候ニ付祝枝山〔允明〕／臨書と一所尔〔に〕 所有寿〔す〕るならば／ソレも面白可〔か〕らむと存候併志〔し〕／ 小生者〔は〕 法帖家尔〔に〕あらざる可〔が〕故／宋拓のみい買入る、考尔者〔には〕なり／不申何れ祝枝山〔允明〕 臨書／を見て買入と極まり多〔た〕らば／宋拓の方同時尔〔に〕 決定可致候／陳老蓮〔洪綬〕の件御序の節／羅〔振玉〕 君へ御問合せ被下度候／山本〔二峯〕／原田〔大観〕 君

・備考 差出年は消印による。

17 大正五年（一九一六）六月一日②（WH2-002-5）

・消印 三田／5.6.1／后10-12

大阪川口／5.6.2／后9-10

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿／第二便

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正〔一字アキ〕年六月一日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔台湾精糖株式会社用箋、以下墨書〕拝啓／六月一日第二便／先便申忘れし事左尔〔に〕申加へ候／丸山〔田山惇二〕氏楊文聰〔聰〕卷代価五百円として百／円多〔だ〕けのもの者〔は〕品物尔〔に〕て添へるとの事楊文／聰〔聰〕ヲ有難可る時代尔〔に〕も無之候へども兎／も角現品モウ一応熟覧致度差支無く／ば御送付被下致候／羅〔振玉〕君昨年東京尔〔に〕て法帖売却の節／売品の中尔〔に〕張猛龍碑と云ふものあり／是者〔は〕小生〔山本二峯〕譲受度候二付御序の節御話置／被下度候／山本〔二峯〕／原田〔大観〕君〔欄外に、「明治三十〔一字アキ〕年〔一字アキ〕月〔二字アキ〕日〔印字〕とあるが、年月日の記載なし〕

・備考 差出年は消印による。

18 大正五年（一九一六）六月一日（WH2-002-6）

・消印 三田／5.6.11／后10-12

大阪川口／5.6.12／后9-10

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通り二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正〔一字アキ〕年六月十一日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕拝啓御送付の智永千文〔千字文〕夫子〔孔子〕廟堂碑及十七帖の端法帖落／手披閱致候結構の品と見／受け候へ共小生〔山本二峯〕者〔は〕直接弊〔山本二峯〕藏の／書画尔〔に〕関係無き碑帖類尔者〔には〕／指を染めぬ事尔〔に〕致居り候故へ／是れ者〔は〕専門外のものとして一先づ／御返送致し候間御落手可被下候／張猛龍碑者〔は〕三百金尔〔に〕て買／取り可申候黄庭経原本者〔は〕未多〔だ〕入手致さ寿〔ず〕候へども当地の／評判尔〔に〕てはイクラ宋拓尔〔に〕ても極／度五百円止り可〔が〕相場との事／就て者〔は〕先方尔〔に〕て此の程度まで／譲歩出来る見込あれ者〔ば〕格別／左も無くば御送付御見合せ／被下度候／藩〔^{ハナ}藩〕蓮巢〔恭寿〕双幅も

結構なれ／ども既尔〔に〕二三品所持以多〔いた〕し
 居り／候ニ付是亦此度右法帖と同封／御返送致置き候
 ／姚雲東〔綬〕の件御内報奉謝候他へ／何人尔〔に〕も
 事実を漏洩せざる者〔は〕／勿論の儀ニ付此点者〔は〕
 決して御心／配者〔は〕無用尔〔に〕候／小生〔山本
 二峯〕の出發者〔は〕十五六日頃尔〔に〕延期相成り
 申候／山本〔二峯〕／六月十一日／原田〔大観〕君
 ・備考 差出年は消印による。

19 大正五年（一九一六）六月十四日（WH2-002-7）

・消印 田 5.6.14 / 5.3-4

京橋／5.6.14 / 5-6

・封筒表書〔以下墨書〕京橋区日吉町／小川一真殿
 ・封筒裏書〔以下印刷、日付、〔メ〕のみ墨書〕メ／大
 正〔一字アキ〕年六月十四日／山本悌二郎〔二峯〕／
 芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番
 ・本文〔以下墨書〕拜啓／吉濱地所の件其後専門／家
 方面の説をも耳合せ其上／貴兄〔小川一真〕御投資の
 金額等をも／参酌し熟考以多〔いた〕し候処御期／
 待の評価とは遥可尔〔かに〕懸隔／有之到底御相談
 尔〔に〕相成る／間敷存候山本〔二峯〕もアマリ人／

を馬鹿尔寿〔にす〕るとの御叱りも／有之候ては不本
 意ニ候儘／小生〔山本二峯〕の附〔不〕徳申上げ候事
 者〔は〕／聊可躊躇以多〔いた〕し候次第尔〔に〕／
 御坐候乍併御思召尔〔に〕依りては／相談の成否尔
 〔に〕拘者〔は〕ら寿〔ず〕一／応申上候ても宜しく
 候へ共／右尔〔に〕関し先以て御意向を／伺ひ候上の
 事尔〔に〕致度存候／小生〔山本二峯〕者〔は〕明日
 又者〔は〕明後日夕刻多分／出立の事尔〔に〕相成り
 可申候／敬具／山本〔二峯〕／小川〔一真〕先生
 ・備考 差出年は消印による。

20 大正五年（一九一六）七月十四日（WH2-002-8）

・消印 東京 5.7.14 / 5-6

大阪川口／5.7.15 / 前10-11

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文
 堂／原田大観殿
 ・封筒裏書〔以下墨書〕メ／三田台町一／二／山本悌
 二郎〔二峯〕／七月十四日
 ・本文〔以下墨書〕拜啓婦京後種々多用／尔〔に〕取
 紛れ雅道の要〔用〕向き者〔は〕／ソツチ除けれ尔〔に〕
 相成り居り／候処本日ヤット小閑を得／候ニ付御書面

尔〔に〕对寿〔す〕る返／辞旁々一筆申進候／蔡襄書
 卷及陳白沙〔献章〕書／卷二品代金三千円也／本日電
 送申上候筈ニ付／先着御領収の事と存候／廉泉の分
 (禹之鼎唐寅／董其昌王建章の四点)／又々例の病氣
 を出し彼／是申候由実以て不都合／千万是者〔は〕強
 硬尔〔に〕御申／付可被下候代金者〔は〕二千円／ま
 では致方無しと覚悟／以多〔いた〕し候間其の範圍尔
 〔に〕て／精々御直〔値〕切り可被下候金者〔は〕／
 此書面御落手の頃まで尔〔に〕／御入手相成る様手配
 ／可仕候／金冬心〔農〕仏像石濤山水／石溪山水の三
 点披見／皆な結構の品なれども／支那の相場尔〔に〕
 少しく／色を付け多〔た〕る処尔〔に〕てマツ／三点
 一千円可〔が〕至当なる／べし(金冬心〔農〕四百円
 石溪／三百五十円石濤二百五十円)／其の以上舊発寿
 〔す〕るば登〔「ほど」の誤記〕／の勇氣も無之候ニ付
 品／物を本日御手元まで返／送以多〔いた〕し候／羅
 〔振玉〕氏より唐寅譲受の交渉者〔は〕困つ多〔た〕
 もの尔〔に〕候是者〔は〕体能／く御断り被下候／
 山本〔二峯〕／原田〔大観〕君
 ・備考 差出年は消印による。

21 大正五年(一九一六)八月一七日 (WH2-002-9)

・消印 三田／5.8.17／前11-12

大阪川口／5.8.18／前9-□

・封筒裏書 〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文
 堂／原田大観殿

・封筒裏書 〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大

正〔一字アキ〕年八月十七日／山本悌二郎〔二峯〕／
 芝区三田台町壹丁目貳番地／電話五五四三番

・本文 〔以下墨書〕拜啓御手帑〔紙〕今朝拝見／三君
 への盆礼其他御高配／奉謝候／文徵明枯木立軸の件誠
 尔〔に〕／好都合尔〔に〕存候就て者〔は〕右の幅／
 一覽致度候へ共小生〔山本二峯〕者〔は〕明後／日郷
 里へ出張の予定尔〔に〕／相成り居り候ニ付今より電
 報尔〔に〕て御返辞以多〔いた〕し直ち尔〔に〕／
 御廻送下されても間尔〔に〕合ひ／申間敷と存じ候儘
 架電者〔は〕／見合せ申候来月七八日又者〔は〕遅く
 も十日頃尔者〔に〕は／帰京の都合ニ付其の頃を見／
 計ひ留主宅へ送り置き／下され候者〔は〕ゞ好都合尔
 〔に〕存候／謝時臣卷及辺景昭〔文進〕卷も留主宅へ
 御届け願上候／趙之謙卷モウ一度印譜尔〔に〕／合せ
 見ても宜しく若し急／可〔が〕され者〔は〕是亦来月

七八日／頃東京着の日取りル〔に〕て／御送り被下度候／硯の件長尾〔雨山〕君の御厚意／敬承但し此件者〔は〕至急を要寿〔す〕る次第ル〔に〕も無之ニ付唯今／此の爲めのみル〔に〕特ル〔に〕〔長尾〕雨山君の／出京を煩寿〔す〕ほどの事ル〔に〕も無之／何れ例の弊〔山本二峯〕藏書画一切／の撰択淘汰の爲め一月の／休暇頃を見計ひ〔内藤〕湖南〔長尾〕雨山／両君を当地へ招待以多〔いた〕し度／存居り候ニ付硯の件も其頃／ル〔に〕て差支無之候／羅〔振玉〕君方へ何可〔か〕書画到来／の様御話ありし可〔が〕何も名品／者〔は〕無之候也／小生〔山本二峯〕国元の住所者〔は〕／佐渡国新町／ル〔に〕て解り候ニ付御用事の節者〔は〕／右宛ル〔に〕て御一報被下度候尤も／国元滞在者〔は〕来月二日迄と／御承知被下度其後者〔は〕新渴／ル〔に〕滞在の予定なるも旅宿／者〔は〕今の処未定ル〔に〕御坐候／十七日山本〔二峯〕／原田〔大観〕君

・備考 差出年は消印による。

22 大正五年（一九一六）九月一九日（WH2-003-1）

・消印 高輪／5.9.19／后10-12

大阪川口／5.9.20／后4-5

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿／至急

・封書裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正（「一字アキ」）年九月十九日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔山本用箋〕使用、以下墨書、一枚目〕原田〔大観〕君山本〔二峯〕／十八日付御書面拝見種々御手数奉謝候重北／苑〔源〕の添物の件小生〔山本二峯〕者〔は〕貴君〔原田大観〕方と意見を異ル〔に〕／し何等羅〔振玉〕君ル〔に〕対し遠慮寿〔す〕べき節も無之／又多〔た〕ソレ可〔が〕為め将来の交情ル〔に〕影響する心配／も無之箇様な事を吾々同人ル〔に〕も往々有之／事柄故へ余り取越苦勞せ寿〔ざ〕の誤記か〕るもの事と／存候へ共貴君〔原田大観〕対羅〔振玉〕氏の関係上申出で／ニクイと申寿〔す〕次第ならば強以〔い〕てと者〔は〕不申併志〔し〕／将来の關係もある古登〔こと〕故尚ほ御一考下され／度候余り羅〔振玉〕君を腫物扱ヒル寿〔にす〕る者〔は〕御当人の為／〔二枚目〕めル〔に〕も結局利益可〔か〕不利益可〔か〕疑問ル可〔にか〕有之此辺／者〔は〕羅

〔振玉〕君の世話方多〔た〕る貴君〔原田大観〕あ多
 〔た〕り尔〔に〕ては能く々々／御勘考願者〔は〕し
 く存候／速達汽車便を以て趙子昂〔孟頫〕書卷御手元
 ／まで御届け申候間毎度御手数恐入り候へ共／〔内藤〕
 湖南〔長尾〕雨山両君及羅〔振玉〕氏の意見御聞取り
 被下／され度品物者〔は〕要〔用〕向済み次第直ち尔
 〔に〕御返送／被下度候右書卷の英和〔煦齋〕の臨書
 拓／本の巻も相添へ候間是も参考の爲め諸君／へ御見
 せ被下度候干子〔支〕を調べ候処子昂〔趙孟頫〕の／
 三十九歳の書尔〔に〕て未多〔だ〕当地尔〔に〕て者
 〔は〕何人尔〔に〕も見／せざれども小生〔山本二峯〕
 の見る処尔〔に〕てはヨホド面白きものと／〔三枚目〕
 存候及落如何鶴首待受け居り候黄子久〔公望〕の巻者
 〔は〕二千円なぞと吹き居り候へ共／結局其の半額尔
 〔に〕て買取り申候前掲の子／昂〔趙孟頫〕字巻も出
 所者〔は〕同一尔〔に〕て北清事変〔義和団事件〕当
 時／の分捕品可〔か〕と存候／小生〔山本二峯〕の出
 発者〔は〕廿六日の香港丸尔〔に〕相成り候多／分廿
 五日の夜行汽車尔〔に〕て当地出立可〔か〕と存候／
 勿々／九月十九日夜／当地美術学校一派／及滑川〔澹
 如〕氏噂者〔は〕南宗遺〔衣〕鉢／を全部非認以多〔い

た〕し居り候由聞及び申候一方尔〔に〕ては／天下の
 至宝とし一方尔〔に〕ては全然／偽物なりと云ふ面白
 き対照尔〔に〕致候／呵々
 ・備考 差出年は消印による。

23 大正五年（一九一六）九月十六日（WH2-002-10）

・消印 下関／5.9.27／印10-12

大阪川口／5.9.28／前9-10

・封筒表書 〔大阪商船株式会社船客用〕封筒、以下墨
 書 大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿／親
 展

・封筒裏書 〔以下墨書〕メ／香港丸ニテ／山本悌二郎

〔二峯〕／廿六日

・本文 〔大阪商船株式会社船客用箋〕、以下墨書、一
 枚目 拜啓本日者〔は〕遠方御見送下され／難有奉謝
 候／南宗遺〔衣〕鉢尔〔に〕対する美術学校／一派の
 批評者〔は〕其儘尔〔に〕致し置きては／面白可〔か〕
 ら寿〔ず〕余りソナナ事を世間／尔〔に〕向ひて吹聴
 せぬ前尔〔に〕相当の／懷柔策を講寿〔ず〕る者〔は〕
 書画其物の／為め尔〔に〕も又多〔た〕書物販売の為
 め尔〔に〕も／〔二枚目〕利益可〔か〕と存候美術学

校と云へ者〔ば〕俗人者〔は〕直ち尔〔に〕斯道の最高府と／妄信以多〔いた〕し居る今日故へソノ方面／よりの一言一句者〔は〕俗界の心象尔〔に〕甚／しく影響寿〔す〕べく惹以〔い〕て南宗遺〔衣〕／鉢販売上尔〔に〕も面白可〔か〕らざる結果／を生せむやと杞憂尔〔に〕堪へ寿〔ず〕何と可〔か〕当／方へ取込む策御一考可然や尔〔に〕致候／右心付きの儘申上候勿々

・備考 差出年は消印による。行田市郷土博物館所蔵 C35-3-1 は本書簡を複写したものである。

24 大正五年（一九一六）一〇月二日（WH2-003-2）

・消印 [判読不能]／6.10.12／后0-2

大阪川口／5.10.17／前0-□

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封書裏書〔以下印刷、日付、〔メ〕「台湾ヨリ」のみ墨書〕メ／大正〔一字アキ〕年十月十二日／台湾ヨリ／山本悌二郎〔二峯〕

・本文〔以下墨書〕拝啓／来る十七日当地出発南／清地方視察尔〔に〕出掛け／候事尔〔に〕決定以多〔い

た〕し候廿四日／香港出帆引返へして／上海へ立寄り可申随て／上海到着者〔は〕廿七日可〔か〕八日／頃可〔か〕と存候上海尔者〔には〕五六日／も滞在の予定二付此度者〔は〕／同地収蔵家の家藏品／一覽以多〔いた〕し度存居候唐突／な可〔が〕ら貴君〔原田大観〕も此の機会尔〔に〕上海御来遊者〔は〕如何尔〔に〕候也／〔長尾〕雨山君へ者〔は〕小生〔山本二峯〕より書面を／以て紹介状依頼致置き候／何可〔か〕御要事もあらむ廿三日／までならば香港三井物産／会社支店宛て又多〔た〕其の／後なら者〔ば〕上海三井物産／支店宛尔〔に〕て御申聞相成度候／羅〔振玉〕氏〔内藤〕湖南氏等へ宜しく／御鳳声可被下候 勿々／十二日 山本〔二峯〕／原田〔大観〕兄

・備考 差出年は消印による。

25 大正五年（一九一六）十一月十日①（WH2-003-4）

・消印 三田／5.11.27／后4-5

大〔阪川口〕／5.11.28／〔判読不能〕

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封書裏書〔以下印刷、日付、〔メ〕のみ墨書〕メ／大

正〔一字アキ〕年十二〔二〕月廿七日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番
・本文〔山本用箋〕使用、以下墨書、一枚目／原田〔大観〕君 山本〔二峯〕／拝啓過日送金ニ付行違を生じ候処首尾善く／御領収の旨貴電ル〔に〕接し安心仕候／馬文璧〔琬〕山水一幀小包ル〔に〕て御送付致し候間羅〔振玉〕氏／へ御見せの上真贋精不精の点御一報被下度小生〔山本二峯〕者〔は〕／真ル〔に〕して精なるものと信じ候へども羅〔振玉〕氏の意見を／聞き多〔た〕る上ル〔に〕て買取り候積りル〔に〕御坐候／近來ナリ金輩出の爲め可〔か〕して文化文政あ多〔た〕りの文／人物法外の値段と相成り候ニ付出入書画屋の勧め／ル〔に〕依り弊〔山本二峯〕藏の〔頼〕山陽書幅二十点者可〔ばか〕り全部／入札ル〔に〕掛け売却の事ル〔に〕決定以多〔いた〕し候尤も其／の中二三非売品もあれども例の天草者〔は〕値段／〔欄外に〕「大正〔二字アキ〕年十一月廿七日」〔日付のみ墨書、他は印字〕とあり／〔二枚目〕次第ル〔に〕て手放寿〔す〕決心ル〔に〕御坐候而して売上代金纏／まり次第今回者〔は〕北京へ出掛け全部支那書画／ル〔に〕乗換の心算ル〔に〕御坐候ソレ迄ル〔に〕貴

君〔原田大観〕の手ル〔に〕て何可〔か〕／名品を輸入寿〔す〕る事出来候者〔は〕、其の方ル〔に〕一部分／者〔は〕放資以多〔いた〕しても宜しく候又多〔た〕羅〔振玉〕君収蔵品／の中ル〔に〕て割譲しても宜しと云ふものあらば品と値段／とル〔に〕依りては北京行キを止めて其の方引受けても／宜しく存候譬へば南宗衣鉢中の巨匠山水／趙子昂〔孟頫〕錢舜拳〔選〕山水等の如き尤も面白き／もの、中と存候／南宗衣鉢中の趙大年〔令穰〕春江煙雨圖の巻者〔は〕羅〔振玉〕／氏の解説ル〔に〕依れ者〔ば〕嘗て之を買者〔は〕んとし多〔た〕るも価格／〔三枚目〕余り高くして止め多〔た〕りとあり是者〔は〕今日ル〔に〕ても買ふ／事の出来る品なりや而して代価高しと云ふ者〔は〕何／ホドなりや羅〔振玉〕君へ御序の節御問合の上事宜ル〔に〕／依りては貴君〔原田大観〕の手ル〔に〕て取扱ひ候て者〔は〕如何／モウ一つ羅〔振玉〕君ル〔に〕問合せ貰ひ度き事あり南宗衣／鉢解説の中ル〔に〕宝華庵〔端方〕と云ふ収蔵家あり是／者〔は〕何と云ふ姓名の人ル〔に〕て何処ル〔に〕居住の者なりや同／人の収蔵品の中ル〔に〕て上海出版の画冊中ル〔に〕見多〔た〕るもの／ある可〔か〕故上海の人

ならば此の次上海へ行き多「た」る節者「は」／一度訪問以多「いた」し度存じ候次第尔「に」御坐候／勿々「二三枚目欄外に、「大正（一字アキ）年（二字アキ）月（一字アキ）日」とあるが、年月日の記載なし」

・備考 差出年は消印による。行田市郷土博物館所蔵C35-4-1は本書簡を複写したものである。

26 大正五年（一九一六）十一月十七日②（WH2-003-3）

・消印 三田／5.11.27／后5-6

大阪川口／5.11.28／后0-1

・封筒表書 「以下墨書」大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿／第二便

・封筒裏書 「以下印刷、日付、「メ」のみ墨書」メ／大正（「一字アキ」）年十一月廿七日／山本悌二郎（「二峯」）／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文 「以下墨書」先便申忘れし件左尔「に」／御依頼申上候／上海尔「に」陳熊なる人あり涓泉と号寿「す」此の人の処／尔「に」黄大癡「公望」の大幅あり／此の幅の事を羅「振玉」君も／承知の由先日小川亭「京都の旅館」尔「に」て羅「振玉」君より話あり多「た」るも／其の真贋精否尔「に」就て／者何等

聞可「か」ざりし可「が」此／の幅宜しければ「ば」買取の／交渉を開始寿「す」る積り尔「に」／御坐候間御序の節羅「振玉」氏／の意見御確め被下度候／廿七日／山本「二峯」／原田「大観」君

・備考 差出年は消印による。

27 大正五年（一九一六）十一月十一日（WH2-003-5）

・消印 三田／5.12.21／后8-9

・封筒表書 「以下墨書」大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書 「以下印刷、日付、「メ」のみ墨書」メ／大正（「一字アキ」）年十二月廿一日／山本悌二郎（「二峯」）／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文 「以下墨書」拝啓唯今小生「山本二峯」「頼」山陽物入／札尔「に」関寿「す」る記事掲載の大／阪新聞昏「紙」正尔「に」落手仕候／種々御尽力奉謝候唯多「だ」／株式暴落財界大混乱／の今日結果如何尔「に」や案じ／居り候へ共上等物の方者「は」当／方の気尔「に」入る値段まで届／可「か」ざれ者「ば」売らぬ多「だ」けの事と／決心致居候羅「振玉」君よりの陳老蓮「洪綬」二幅／とも余り精尔「に」あら寿

〔ず〕少々／物足らぬ心地致し居り候処／今日遇〔偶〕然神州大観を／展観せし尔〔に〕小生〔山本二峯〕可〔が〕最初尔〔に〕／貴君〔原田大観〕へ羅〔振玉〕君へ申込の爲め／御渡し申せし書附〔羅〔振玉〕君／収藏品の中尔〔に〕て小生〔山本二峯〕冀望／のものを列記せしもの〕中尔〔に〕／挙げ置き多〔た〕る盧同品茶／畧の写真を発見以多〔いた〕し候／是者〔は〕風雨楼〔鄧実〕の旧蔵尔〔に〕て／先達手羅〔振玉〕君へ譲渡せし由風雨楼〔鄧実〕より小生〔山本二峯〕直接聞／き多〔た〕るニ付今回小生〔山本二峯〕冀望品／中尔〔に〕加へ置き多〔た〕る次第尔〔に〕候／今回羅〔振玉〕君より譲受け多〔た〕る／二点を其儘尔〔に〕して新尔〔に〕此の／陳老蓮〔洪綬〕を譲受ける事尔寿〔にす〕／る可〔か〕又者〔は〕二点を帰〔返〕へして此の／老蓮〔陳洪綬〕多〔だ〕け請受ける可〔か〕何れ尔〔に〕／ても宜しく候へ共御序の節／御交渉被下度候／神州大観者〔は〕小包尔〔に〕て御送付／申上候間用済の上者〔は〕御返送被下度候／山本〔二峯〕／廿一日／原田〔大観〕君

・備考 差出年は消印による。

28 大正五年（一九一六）十一月十一日（WH2-003-6）

・消印 三田／5.12.23／后8-9

大阪川口／5.12.24／后5-6

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正（「一字アキ」年（「一字アキ」月廿三日／山本悌二郎（「二峯」／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕拜啓〔頼〕山陽入札尔〔に〕関しては不一方／御尽力を煩し候処折悪しく／財界大恐慌の場合とて頗る／不印尔〔に〕終り候者〔は〕遺憾千万尔〔に〕／存候天草の幅者〔は〕辛ふして／一万余円尔〔に〕落札其他小物／少々捌け候へ共概して予定／値段尔〔に〕達せ寿〔す〕上等品の大部／分者〔は〕悉皆引き申候冀望／者者〔は〕随分沢山あり多〔た〕るも何分／尔〔に〕も意気消沈の折柄故へ／馬鹿奮発を寿〔す〕る勇氣無く／垂涎しな可〔が〕らも見逃可〔が〕し多〔た〕る／もの多数あり多〔た〕るや尔〔に〕聞及び／申候更ら尔〔に〕時機を見て再／挙を計るの外無之候今回の／経験尔〔に〕依れ者〔ば〕ヤハリ関

西の方コンナ事を寿〔す〕る尔〔に〕は宜しきや／
尔〔に〕存候次回者〔は〕京坂尔〔に〕於て計／画致
させてはと存候／御申聞の文求堂船載の／石渠宝笈三
編目錄者〔は〕十／五六冊不足の零本尔〔に〕て価者
〔は〕／三千円と申居候コンナ値段の／もの可〔か〕
如何可〔か〕小生〔山本二峯〕者〔は〕書物の事／不
案内尔〔に〕候へ共如何尔〔に〕も高価／尔〔に〕て
小生〔山本二峯〕尔〔に〕は手尔〔に〕合ひ兼ね候や
尔〔に〕／存ぜられ候文求堂今回の書／画中尔者〔に〕
は〕絶へて目星ば〔衍字〕しき／品無之ソレでも張玉
川〔張治あるいは張棟〕の水／墨山水六百円瑤華道人
〔弘昨〕／水墨山水七百円など随分／大陸式を發揮以
多〔いた〕し居り／候為め誰も恐怖して近寄る／者も
無之様子尔〔に〕御坐候／廿二日 山本〔二峯〕／原
田〔大観〕君

・備考 差出年月は消印による。

29 大正六年（一九一七）一月四日（WH2-003-8）

・消印 静岡・伊東／6.1.5／前9-11

大阪川口／6.1.6／后0-1

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区鞆上通二丁目／博文

堂／原田大観殿／親展

・封書裏書〔以下墨書〕／伊豆国伊東／山本別墅／

山本悌二郎〔二峯〕

・本文〔以下墨書〕小生帰京者〔は〕十四五日頃尔〔に〕
相成りの由／ソレ迄者〔は〕当地尔〔に〕滞在の予定
尔〔に〕御坐候／新年芽出度申納め候／二日付の御書
面正尔〔に〕落掌種々／御高配奉謝候／麓台〔王原祁〕
枯木の幅者〔は〕羅〔振玉〕君不承／知の由愛玩者〔は〕
吾も人も同じ／と寿〔す〕れ者〔ば〕強以〔い〕て云々
寿〔す〕る訳尔〔に〕も／参り申間敷候／過般貴君〔原
田大観〕を介して羅〔振玉〕氏へ問／合せ多〔た〕る
支那收藏家者〔は〕羅〔振玉〕氏／皆な承知の由就て
者〔は〕羅〔振玉〕君を／煩者〔は〕して同人等御藏
品の中／小生〔山本二峯〕冀望の品割譲の件交／涉出
来まじくや御序の節／羅〔振玉〕氏へ御尋ね被下度候
目錄／別紙尔〔に〕認め候間同氏〔羅振玉〕へ御示し
／被下度或者〔は〕其の中同氏〔羅振玉〕の承／知の
品も可有之可〔か〕と存候是者〔は〕／上海出版の画
冊等尔〔に〕て見志〔し〕もの尔〔に〕て小生〔山
本二峯〕者〔は〕真品精品と確／信以多〔いた〕し候
へ共若し羅〔振玉〕氏尔〔に〕／於て写影多〔だ〕け

尔〔に〕ても閲覧の／必要ありと寿〔す〕れ者〔ば〕
帰京の上尔〔に〕て／右画冊御届け可申候兎尔〔に〕
角／一応羅〔振玉〕氏へ御話願上候／〔頼〕山陽〔荻
生〕徂徠等売却方ニ付／先達手御依頼申上候通り／山
中〔商会〕可〔か〕誰可〔か〕相当の方面へ／御序の
節御相談被下致候／正月四日 山本〔二峯〕／原田〔大
観〕大兄

・備考 差出年月は消印による。

30 大正六年（一九一七）一月五日（WH2-003-7）

・消印 静岡・伊東／6.1.5／后0-3

大阪川口／6.1.6／后0-1

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通／二丁目博文
堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下墨書〕×／伊東松原／海山仙館／山
本悌二郎〔二峯〕

・本文〔以下墨書〕上海友永〔霞峯〕氏へ表装の件ニ
付東京より／発信以多〔いた〕し置き候御含迄ニ申上
候／昨日の書面御落手の事と／存候其後行篋中を捜志
〔し〕／候処上海出版の神州大観／二冊発見以多〔い
た〕し候ニ付不取敢／御届け申上候間御落手の上者

〔は〕／羅〔振玉〕氏へ御見せ被下度候此の中尔〔に〕
／百鍊庵〔百鍊齋、民国の收藏家と見られる〕所蔵の
黄大癡〔公望〕／及梅道人〔呉鎮〕と王雪澄〔秉恩〕
所蔵の／趙子昂〔孟頫〕有之候其余の分者〔は〕／他
の画冊類中尔〔に〕散見致し／候もの尔〔に〕て手元
尔〔に〕無之不日東／京より御届け寿〔す〕る様手配
／可仕候勿々／五日 山本〔二峯〕／原田〔大観〕大
兄／用済の上者〔は〕画冊者〔は〕凡て当方へ／御送
還被下度候

・備考 差出年月は消印による。

31 大正六年（一九一七）一月十日（WH2-003-9）

・消印 静岡・伊東／6.1.11／后0-3

大阪川口／6.1.12／前11-12

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文
堂／原田大観殿

・封書裏書〔以下墨書〕×／伊東松原／海山仙館／十
日／山本悌二郎〔二峯〕

・本文〔以下墨書〕小生〔山本二峯〕者〔は〕明後
十三日出発帰京可致候／拜啓上海陳渭泉〔熊〕氏方尔
〔に〕少々／メボシを附け置き多〔た〕るものあり／

先達手右尔〔に〕関し書面尔〔に〕て／交渉以多〔いた〕し候処其の中王石谷〔輩〕／墨池風雨暈の幅と戴醇士〔熙〕／湖上春光暈の幅と者〔は〕丸山〔円山淳一〕氏／尔〔に〕売却せりとの回答有之候丸／山〔円山淳一〕氏者〔は〕其後上海へ出向き候也／御一報被下存候／六朝又者〔は〕唐の写経墨蹟／是非手尔〔に〕入れ度存候羅〔振玉〕氏者〔は〕／必寿〔ず〕煥〔燉〕煌の品所有以多〔いた〕し居る／尔〔に〕相違無之是非完全のもの／一点尔〔に〕ても譲与以多〔いた〕し貰ひ度／実者〔は〕先年唐の章草の／写経文求堂へ到来せしを纔可〔か〕の行違ひ尔〔に〕て〔中村〕不折君尔〔に〕奪取され〔中村〕不折君者〔は〕例の流／義〔儀〕尔〔に〕て珂羅版尔〔に〕なぞ致し／大々的尔〔に〕広告以多〔いた〕し居る始末／尔〔に〕て残恨骨尔〔に〕徹し候次第尔〔に〕／御坐候幸尔〔に〕羅〔振玉〕君所有の品より／割合あれ者〔ば〕尤も好都合尔〔に〕御坐候／万一同君〔羅振玉〕持合せ無之者〔ば〕同君〔羅振玉〕の紹介尔〔に〕て支那より取寄せ／貰ふ事出来候者〔は〕ゞソレ尔〔に〕ても／宜しく価値者〔は〕高くても精品／〔中村〕不折君をして瞠若多〔た〕ら志〔し〕むる／様なるもの欲しきもの

尔〔に〕御坐候／可成者〔は〕楷書の分の外尔〔に〕／草書のもの望ましく存候／右御問合せ願上候 勿々／十日 山本〔二峯〕／原田〔大観〕君
・備考 差出年月は消印による。

32 大正六年（一九一七）一月十八日（WM2-004-1）

・消印 三田／6.1.18／印1-2

大阪川口／6.1.19／后7-8

・封筒表書 「朶雲軒製封筒、以下墨書」 大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書 「以下墨書」メ／東京芝区三田台町一／二月十八日／山本悌二郎〔二峯〕

・本文 「上海九華堂箋、以下墨書、一枚目」 拜啓石濤高鳳翰ノ二点御返送下され正尔〔に〕／落掌御手数奉謝候同封尔〔に〕方環山〔士庶〕幅陳植／巻亦多〔た〕落手致度方環山〔士庶〕者〔は〕定価の二割引尔〔に〕て／引受け置き可申候陳植の巻者〔は〕一旦値段を附／け多〔た〕る行掛上買取り多〔た〕る尔〔に〕過ぎ寿〔ず〕格別執着も／無之候ニ付羅〔振玉〕君又者〔は〕長尾〔雨山〕君あ多〔た〕り尔〔に〕て所望と／あら者〔ば〕何可〔か〕外のものと交換以多〔いた〕して

も宜しく候／貴〔原田大観〕藏書画中尔〔に〕張大風
 〔風〕の画冊ありし様記臆寿〔す〕〔二枚目〕余り飛付
 くほどの品尔〔に〕て者〔は〕無可〔か〕りしもモウ
 一応一／見以多〔いた〕し度御序の節御送付願上候／
 米芾卷者〔は〕小生〔山本二峯〕として者〔は〕兎尔
 〔に〕角心服以多〔いた〕し兼ね／る品ニ付羅〔振玉〕
 君の説の通り一先づ見合者寿〔はす〕事／尔〔に〕致
 度左様御承知被下宣和の画幅も同様／御思召被下度候
 ／山本〔二峯〕／原田〔大観〕君
 ・備考 差出年は消印による。

33 大正六年（一九一七）二月二二日（WH2-004-2）

・消印 三田／6.2.12／后6-7
 大阪川口／6.2.13／后4-5
 ・封筒表書〔朶雲軒封筒、以下墨書〕大阪西区靱上通
 二丁目／博文堂／原田大観殿
 ・封筒裏書〔以下墨書〕×／東京山本悌二郎〔二峯〕
 ・本文〔山本用箋〕使用、以下墨書、一枚目〔原田〕
 大観先生〔山本〕二峯／拝啓張夕庵〔釜〕馬江香〔荃〕
 の二幅直今到着致候尚ほ／篤と拝見の上採否決定致
 度存候／本日御送付せし唐寅山水丁雲鵬洗象の二幅

者〔は〕羅〔振玉〕／君へ御見せ被下度二品とも真品
 と見受け候へ共唯多〔だ〕／唐伯虎〔寅〕者〔は〕其
 の題文を読む尔〔に〕劉松年の画尔〔に〕題せし可
 〔か〕の如き文章尔〔に〕て其の通りと寿〔す〕れ者
 〔ば〕此の幅者〔は〕劉／松年の画と為寿〔す〕べき
 可〔が〕如くなるもソレ尔〔に〕して者〔は〕時代も
 若く／又多〔た〕筆意より推せ者〔ば〕ドウしても唐
 伯虎〔寅〕の描けるものとし可〔か〕受取れ寿〔す〕
 此の点頗る解釈尔〔に〕苦み居り候次第／尔〔に〕御
 坐候〔内藤〕湖南〔長尾〕雨山諸君の意見も御尋ね願
 上候／勿々〔欄外に〕大正〔一字アキ〕年二月十二日
 〔日付のみ墨書、他は印字〕とあり
 ・備考 差出年は消印による。

34 大正六年（一九一七）二月十八日（WH2-003-10）

・消印 三田／6.2.18／后1-2
 大阪川口／6.2.19／前7-8
 ・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文
 堂／原田大観殿
 ・以下印刷、日付、〔×〕のみ墨書〕×／大正〔一字
 アキ〕二月十八日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台

町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕拜啓／王元章〔冕〕墨梅大幅至極／氣尔〔に〕入り申候但し代金の処者〔は〕／暫時御猶予願上候／王安節〔槩〕山水者〔は〕結構なれど／如何尔〔に〕も絹素黯淡を極め／居り候為め乍遺憾棄却の／外無候／張夕庵〔窠〕山水も絹素尔〔に〕瑕／あり冒巢民〔襄〕書幅も小品／尔〔に〕て大し多〔た〕品尔〔に〕無之候／右三点御返送申上候間御査／収可被下候／馬江香〔荃〕松鼠幅及周蓮山水幅者〔は〕引取り／可申候／周天球画蘭卷周蓮山水幅／京都尔〔に〕て改装致させ度く候間／御落手の上者〔は〕表具屋へ御命じ／被下度候周天球の卷者〔は〕改装／せ寿〔ず〕とも破損〔表綾とヘリ〕／の箇処のみ修理出来るもの／ならばソレル〔に〕て宜しく候／先般來の二卷一幅今以て／出来上ら寿〔ず〕余り長き尔〔に〕過ぐ／精々御催促被下度候／前記周蓮幅者〔は〕呉絹可〔か〕紋／綾尔〔に〕て支那表装尔〔に〕致度候／羅〔振玉〕氏手元尔〔に〕て研究中なりと／の御話ありし黄大癡〔公望〕大幅／其後の消息御洩し被下度候／十八日勿々／山本〔二峯〕／原田〔大観〕君

・備考 差出年は消印による。

35 大正六年（一九一七）二月十一日（WH2-004-3）

・消印 三田／6.2.21／后10-12

大阪川口／6.2.22／后9-10

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正（「一字アキ」）年二月廿日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕拜啓／御送付の二幅一劍正尔〔に〕落掌／易元吉者〔は〕羅〔振玉〕氏の意見尔〔に〕從ひ／当分其儘尔〔に〕致し置き可申候／八大人（朱耷）者〔は〕真蹟尔者〔には〕相違／無之候へ共要寿〔す〕る尔〔に〕普通品／尔〔に〕過ぎ寿〔ず〕是者〔は〕御返送申候間／御査収可被下候／景光短刀者〔は〕実尔〔に〕名品別／尔〔に〕何人尔〔に〕も相談の必要無之／候ニ付直ち尔〔に〕小生（山本二峯）引受けの／事尔〔に〕致し可申候代金の儀者〔は〕／小生渡台〔台湾〕前尔〔に〕御支払／可申候／昨冬旧曆十二月末董北／苑〔源〕の巻蘊東坡〔蘇軾〕の巻の二点／五千円尔〔に〕て羅〔振玉〕氏買入／れ候由右者〔は〕

上海より特ル〔に〕人／を派して羅〔振玉〕氏ル〔に〕
売込み多〔た〕る／もの、由序での節一見致し度き
ものル〔に〕御坐候／小生〔山本二峯〕の渡台〔台湾〕
者〔は〕本月末ル〔に〕相成り可申也ル〔に〕致候
／山本〔二峯〕／廿一日／原田〔大観〕君
・備考 差出年は消印による。

36 大正六年（一九一七）二月十六日（WH2-004-4）

・消印 京橋／6.2.26／后7-8

大阪川口／6.2.27／后6-□

・封筒表書 〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文
堂／原田大観殿

・封筒裏書 〔以下墨書〕／東京三田台町一ノ二／山
本悌二郎〔二峯〕／廿六日

・本文 〔以下墨書〕拜啓再三の御書面到／着拜見仕候
／羅〔振玉〕君新獲の東坡〔蘇軾〕／巻者〔は〕面
白きものらしく／渡台〔台湾〕の途次是非一／見致
度存候羅〔振玉〕氏も出／版ル〔に〕金可〔が〕入
る々と申／寿〔す〕もの、其の実ヤハリ箇／様の用
途ル〔に〕も入用の／ものと相見へ申候呵々／羅〔振
玉〕収蔵品の中／邵僧弥〔邵弥〕の結構なる／もの

有之候由紀成〔虎一〕氏／話し居り候是れも序／の節
一覽以多〔いた〕し度き／ものと存居候／小生〔山本
二峯〕上海より将来の／陸包山〔治〕山水〔石渠の／
印あるもの〕〔内藤〕湖南君方ル〔に〕／題跋の為め
預け多〔た〕る筈／然るル〔に〕当地ル〔に〕て見多
〔た〕しと／申寿〔す〕人有之候ニ付一応／御返送被
下度御依頼申／上候／石渠の印あるもの羅〔振玉〕氏
／所望の由承知仕候併志〔し〕／目下の処心当り無之
候／先般の唐伯虎〔寅〕丁雲鵬／等者〔は〕例の趙子
昂〔孟頫〕黄大癡〔公望〕／等の口ル〔に〕し者〔は〕
無之支／那行きの道具屋の手／より遇然獲得せし／品
ル〔に〕てマツ掘出しの方ル〔に〕／御坐候／小生〔山
本二峯〕出發者〔は〕未定なるも／三月三四日頃可〔か〕
と存候／其節者〔は〕必寿〔ず〕前以て／一電可申上
新聞の報／導〔道〕等者〔は〕アテル〔に〕為され間
敷／候／山本〔二峯〕／廿六日／原田〔大観〕君／道
具屋へ依頼中の品者〔は〕三日中ル〔に〕は是非片付
くる／様御申付願上候／紀成〔虎一〕君も廿八日の舩
ル〔に〕て／上海へ渡航の筈
・備考 差出年は消印による。

37 大正六年（一九一七）三月七日（WH2-004-6）

・消印 三田／6.3.7／后2-3

大阪川口／6.3.8／前10-11

・封筒表書〔以下墨書〕大阪市西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿／恵披

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正六年三月七日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕拝啓／羅〔振玉〕君其後の容体如何尔〔に〕候也／有馬〔温泉〕へ者〔は〕転地せられしや／小生〔山本二峯〕も段々延引以多〔いた〕し／居り候処愈々十三日神戸／出帆の事二相成り可申候／可成者〔は〕十一日晚尔〔に〕当地出／発十二日午前神戸、午後京都として京都尔〔に〕一泊久々／尔〔に〕て〔内藤〕湖南〔長尾〕雨山の諸君尔〔に〕も／面会致度存候併しコウ／都合善く参るや否者〔は〕其／節前以て電報尔〔に〕て御一／報可仕候／今回上海尔〔に〕序であり是／を機として五六点呉昌碩／尔〔に〕題跋認めさせ多〔た〕きもの／あり就では〔長尾〕雨山君へ依頼／しある分の中／禹之鼎卷／蒙泉外史〔奚岡〕観音幅／至急〔長尾〕雨山君尔〔に〕認多〔た〕、

め貰／ひ十三日尔〔に〕間尔〔に〕合ふ様尔〔に〕／御手元まで御引取り置き／下され度候上海行の船も／十五日尔〔に〕出帆の都合尔〔に〕御坐候／山本〔二峯〕／七日／原田〔大観〕君

38 大正六年（一九一七）四月九日（WH2-004-7）

・消印 三田／6.4.10／前9-10

大阪川口／6.4.11／前□-□

・封筒表書〔以下墨書〕大阪〔市〕西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正（一字アキ）年四月十日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕京都よりの／荷物二個正尔〔に〕到着／御安意可被下候／拝啓／姚雲東〔綬〕項孔彰〔聖謨〕黄小／松〔易〕の三点唯今到着披／見何れも面白き品なるも／尚友畲者〔は〕合作物尔〔に〕て食／ひ足ら寿〔ず〕黄小松〔易〕者〔は〕小品／尔〔に〕て是非尔〔に〕と云ふほどの品／尔〔に〕あら寿〔ず〕唯多〔だ〕姚雲東〔綬〕者〔は〕書／画共尔〔に〕出来宜しく殊尔〔に〕／題識せる張實者〔は〕和〔倭〕

39 大正六年（一九一七）四月二日（WH2-004-8）

・ 消印 三田／6.4.13／后4-5

大阪川口／6.4.14／前10-11

・ 封筒表書 「以下墨書」 大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿／恵披

・ 封筒裏書 「以下印刷、日付、「メ」のみ墨書」メ／大正「一字アキ」年四月十三日／山本悌二郎「二峯」／

芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・ 本文 「以下墨書」 此書面認め了りし処へ貴翰到着八

大／山人「朱耷」二百五十円との事敬承右尔「に」て

／引受け可申候／拜啓八山人「朱耷」山水軸／沈石

田「周」枇杷卷一山可「が」／到着披見致し沈石田

「周」巻者「は」真蹟尔者「には」相／違有之間敷文

休承／即ち文嘉の蔵印／なぞもあり面白き品／なるも

大作と云ふ訳尔「に」／参ら寿「ず」仍て即刻送／還

以多「いた」し候御落手下／さるべく候八山人「朱

耷」幅／是者「は」上々出来少しく／幅の小なるを憾

みと寿「す」／れども是者「は」留置き候二付／値段

次第尔「に」て引取り／可申候／小生「山本二峯」者

「は」明日「十三日」夜／行尔「に」て国元へ出発致

候／帰京者「は」二十二三日頃と／存候／山本「二峯」

／寇時代の人尔「に」て弊「山本二峯」蔵尔「に」／
此人の書卷あり旁々／此の幅者「は」手答へある品／
なるも値段五百円者「は」少しく／避「辟」易せざる
を得寿「ず」二割／引の四百円位尔「に」北京へ／交
渉届可「か」ざるもの尔「に」や兎／も角此幅多「だ」
け止め置き／他の二点者「は」御返送致し／候間御落
手可被下候／丸山「円山淳一」より譲受けの沈／南蘋
「銓」鶴の大幅者「は」「長尾」雨／山「内藤」湖南羅
「振玉」君等の中／一覽せし古「こ」とありしや／是
も小栗「秋堂」の藍田叔「瑛」／の如き事ありては又々
滑／稽を重ねる次第二付／右諸君未多「だ」／見せ寿
者「ずば」／御手元まで品者「は」御届け／可申候二
付一応御見せ下／され度小生「山本二峯」者「は」
十二日午後／まで者「は」在京二付否や御一／電下さ
れ度候／本日銚子岩寄家の／唐人物入札「紀州岩崎明
岳翁愛蔵品銚子岩崎家（十次郎氏）所蔵品展観入札」
あり沈石田「周」の如何者「は」しき品三千余円／王
麓台「原祁」の大贗物二百／八十円など云ふ滑稽の／
品尔「に」滑稽の値段尔「に」／て兎も角も大部分捌
け／申候／勿々／九日 山本「二峯」／原田「大観」君
・ 備考 差出年は消印による。

十二日／原田〔大観〕君

二伸／貴翰尔〔に〕從ひ丸山〔円山淳一〕よりの／沈南蘋〔銓〕御送付以多〔いた〕し候間／羅〔振玉〕君へ御見せ被下度候／同封尔〔に〕羅兩峯〔聘〕呉梅村〔偉業〕／の二軸も御届け以多〔いた〕し候二付／是亦羅〔振玉〕君へ御見せ下され／度候／呉梅村〔偉業〕者〔は〕帰宅後篤と／顕微鏡尔〔に〕て例の疑問の／処検閲以多〔いた〕し候処春山／曉翠の画題の処者〔は〕一見ツギハギの如くなるも実者〔は〕／左様尔〔に〕無之全く落款／の処と同一の連絡せる絹／尔〔に〕相違無之唯多〔だ〕画題／の下と落款の上と尔〔に〕各々／方五分は登〔ど〕の切り張りあり／又多〔た〕右の端尔〔に〕表装の絹／尔〔に〕接して幅五分堅五寸／位の切り張りあり此の三ヶ処／を除くの外絹尔〔に〕手入れせし／処無之候然る時者〔は〕落款と／画款との書可〔が〕違ふと云ふ／点頗る妙な事と相成り／可申結局書の全部真蹟可〔か〕／然らざれ者〔ば〕書の全部偽蹟／即ち画も亦多〔た〕贋物と云／ふ結論尔〔に〕相成るべく因て／羅〔振玉〕君の意見御糺し相願／ひ度次第尔〔に〕御坐候

・備考 差出年は消印による。

40 大正六年（一九一七）五月八日（WH2-004-9）

・消印 静岡・伊東／6.5.9／前1-3

大阪川口／6.5.10／前8-9

・封筒裏書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下墨書〕／伊東松原／海山僊館／八日／山本悌二郎〔二峯〕

・本文〔以下墨書〕拜啓六日付御書面正尔〔に〕／拝見羅〔振玉〕氏も首尾善く出／発済みの由大慶尔〔に〕存候尚又／題簽の分及題跋未済の分／東京へ御送り下され候由御手／数奉謝候然る尔〔に〕高克恭／焦秉貞徐渭の三点東／京尔〔に〕在否御問合せ有之候処／右者〔は〕出入帖尔〔に〕依るも小生〔山本二峯〕の記／臆尔〔に〕依るも東京尔者〔には〕帰り／居り不申特尔〔に〕高克恭者〔は〕先達手王国維と可〔か〕云ふ人／尔〔に〕見せるとの事尔〔に〕て至急東京／より御手元まで届けさせし儘／尔〔に〕相成り候事尔〔に〕御坐候併し／小生〔山本二峯〕の留主中尔〔に〕でも還り来り／多〔た〕るを小生〔山本二峯〕帰宅後何等報／告もせ寿〔ず〕又多〔た〕出入帳の方も／其儘尔以多〔にいた〕し置きし可〔か〕如き事／あれば者

〔ば〕格別故へ兎尔〔に〕角一／応東京の方も取調べさせ／可申候へども貴方〔原田大観〕尔〔に〕てもモウ／一応篤と御調べ被下度候／選挙費用の追加請求／莫大尔〔に〕相成り候結果本／月の支払予算尔〔に〕狂ひを／生寿〔ず〕るの恐あり就て者〔は〕此際／例の〔頼〕山陽物尔〔に〕ても至急／売却セメテ貴方〔原田大観〕の支払／多〔だ〕け尔〔に〕ても満足尔〔に〕済ませ度／山中〔商会〕あ多〔た〕り尔〔に〕て手張り尔〔に〕て／一手引受けの相談出来／候者〔は〕、好都合と存候入札／尔〔に〕掛くれ者〔は〕二割の口銭を引／可〔か〕る、事故へ箇人対ての売／買ならば少くとも予定価／格より者〔は〕二割乃至三割位迄／者〔は〕格安尔〔に〕売却して差支／無き勘定故へ右の趣意／を以て一応御運動下され／候儀者〔は〕如何尔〔に〕候也模様を／御探りの上御返辞下され候／様致度候／円山〔淳一〕より書面参り書画／の事申参り候へ共余り高／価故へ一応断り置き候／八日／山本〔二峯〕／原田〔大観〕君

41 大正六年（一九一七）一〇月一日（WH2-006-1）
・消印 三田／6.10.1／后10-12

大阪川口／6.10.4／后6-7

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正（「一字アキ」年（「二字アキ」月（「一字アキ」日／山本悌二郎（「二峯」／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕拜啓／端方旧蔵の王石谷〔暈〕耕／煙艸堂畫の幅羅〔振玉〕氏の／手元より貴君〔原田大観〕を経て或る／方面へ売却相成り候由／貴方〔原田大観〕より一言の御話も無之／より見れ者〔は〕或者〔は〕何等可〔か〕の／誤伝尔〔に〕ても存候へ共一応／為念御伺ひ申上候実否／御一報を煩し度候／山本〔二峯〕／原田〔大観〕君

・備考 差出年月日は消印によるが、消印は「6.10.3」の誤りと見られる。

42 大正六年（一九一七）一〇月三日（WH2-006-2）
・消印 三田／6.10.13／前11-12

大阪川口／6.10.14／前8-9
・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文

堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「×」のみ墨書〕×／大正〔一字アキ〕年〔一字アキ〕月〔一字アキ〕日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕拜啓毎々御手数恐入り候へ共／別包小包郵便尔〔に〕て御送／付申上げ候ふ四点即ち／杜東原〔瓊〕山水幅／張瑞畺山水幅／惲南田〔寿平〕枯木竹石幅／姚雲東〔綬〕竹石幅／羅〔振玉〕氏及外二君〔内藤湖南、長尾雨山〕へ鑒賞／方御取次ギ被下度候／右の中惲南田〔寿平〕幅者〔は〕画者〔は〕／上出来なるも書者〔は〕常尔〔に〕／見る処と者〔は〕多少相違有之／是れ可〔が〕疑問なるも併し又／翻て考ふれ者〔ば〕贋物を作成／寿〔す〕るならば何人尔〔に〕も解り易き／例の南田〔惲寿平〕風の書を摹仿／寿〔す〕べき尔〔に〕却て全然異体の／書なるより見れ者〔ば〕或者〔は〕南田〔惲寿平〕／の真蹟尔者〔に〕は／相違無之も／壮年の作可〔か〕と存候／京都の鑒定済み次第／現品者〔は〕直ち尔〔に〕御返送被下度／廿一日出帆の上海歸りの／船尔〔に〕問尔〔に〕合せ度存候／山本〔二峯〕／原田〔大観〕君

・備考 差出年月日は消印による。

43 大正六年（一九一七）一〇月二一日（WH2-006-3）

・消印 三田／6.10.21／前10-12

大阪川口／6.10.22／□□-10

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「×」のみ墨書〕×／大正〔一字アキ〕年十月廿一日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕石渠宝笈の書物撮影相済み候者〔は〕ゞ／御返送被下度候／拜啓御返送の書画四点／唯今到着右鑑定尔〔に〕就て者〔は〕／御多忙中不一方御迷惑／相掛け恐縮尔〔に〕存候／内藤〔湖南〕氏題跋らしき絹切れ／右書画中尔〔に〕捲込みあり／是れ者〔は〕御端書の次第も有之／候ニ付唯今即刻御返送／致候間御落手可被下候／石濤自写睡牛背畺の／幅御送り申候間鑑定方／宜しく御願申上候是者〔は〕小生〔山本二峯〕尔〔に〕て／真蹟と認め買取り候品／故へ急ぐ必要者〔は〕無之御序／の節尔〔に〕て宜しく候評判悪／るけれ者〔ば〕直ち尔〔に〕御返戻被下

度／若又多〔た〕宜しければ〔は〕題籤なり／鑑賞印
なり京都諸君の／内尔〔に〕御願致度候／内藤〔湖南〕
氏の題文の地切者〔は〕／右石濤軸物の中尔〔に〕卷
込み置き候／予ねて京都諸君へ依頼しある題籤題跋
の品々／二点尔〔に〕ても三点尔〔に〕ても出来／次第
御送り願上候／山本〔二峯〕廿一日／原田〔大観〕君
備考 差出年は消印による。

44 大正七年（一九一八）四月十三日（WH2-006-5）

・消印 三田／7.4.23／后2-3

大阪川口／7.4.24／前9-10

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文

堂／原田大観殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、〔メ〕のみ墨書〕メ／大

正〔一字アキ〕年〔一字アキ〕月廿三日／山本悌二郎

〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三

番

・本文〔以下墨書〕廿八日の孔子祭典会尔〔に〕弊〔山

本二峯〕藏の支／那儒者墨跡八十余点陳列展観／寿

〔す〕る事と相成り候／拝啓右の三点本日鉄道／速達

尔〔に〕て御送付申上候間御落／手の上者〔は〕乍御

手数羅〔振玉〕氏へ鑑／定願度宜しく御取計被下度候

／劉元画卷／張伯駒々／蘓漢臣々／劉元と云ふ人者

〔ハ〕イツ時代の／人なりや／張伯駒蘓漢臣者〔は〕

無論アト／落款のものと信寿〔ず〕如何／右二点者

〔は〕譬へアト落款二寿〔す〕／るも画者〔は〕精品

と思者〔は〕るイツ／時代の（宋可〔か〕元可〔か〕

明可〔か〕ものなるべきや／以上の論点尔〔に〕就

き羅〔振玉〕氏及／京都諸君の意見御聞合せ／被下度

候／品物者〔は〕用済次第大至急／御返送願上候／山

本〔二峯〕廿三日／原田〔大観〕君

備考 差出年月は消印による。

45 大正七年（一九一八）九月十三日（WH2-006-4）

・消印 三田／7.9.23／后7-8

・封筒表書〔以下墨書〕大阪西区靱上通二丁目／博文

堂／原田庄左エ門〔大観〕殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、〔メ〕のみ墨書〕メ／大

正〔一字アキ〕年九月廿三日／山本悌二郎〔二峯〕／

芝区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕拝啓本日四王呉憚の／幅類貴宅〔博

文堂〕宛送付致し候間御查收可被下候／今回者〔は〕

折角の催し故へ／贋品などの混らぬ様十／分注意銚衡

あり度き／ものと存じ候ニ付小生〔山本二峯〕の品／

も一応〔内藤〕湖南〔長尾〕雨山等の諸／君の検閲を

経てドレを／出品寿〔す〕る可〔か〕を御取定め相成

／る様致度候ニ付乍御面倒／富岡〔謙藏〕氏へ渡寿

〔す〕前尔〔に〕右／諸君へ相談被下度候／富岡〔謙藏〕

君可〔が〕貴君〔原田大観〕の手を／経て買入れられ

し王麓／台〔原祁〕尔〔に〕就て者〔は〕東京表の評

／判香し可〔か〕ら寿〔ず〕此を北京より／将来せる

本尊の文久〔文求堂〕君〔田中慶太郎〕／も責任を帯

ふる能者寿〔はず〕と明言以多〔いた〕し居る様の次

第／故へ今回の展観品の撰／択も余程厳重尔〔に〕せ

ざれ者〔ば〕／宜し可〔か〕らぬ物件のマガレ込む／

恐れ無しとせ寿〔す〕折角／写真版まで出来多〔た〕

る後／識者の笑を招く様な事／ありては遺憾ニ付此の

意／味尔〔に〕於て羅振玉〔内藤〕湖南／〔長尾〕雨

山の三君を選定委／員尔〔に〕囑託して其の意見／尔

〔に〕依りて採否を決寿〔す〕る事／尔〔に〕致度此

の儀貴君〔原田大観〕より／ソレと無く富岡〔謙藏〕

君尔〔に〕御勦／め被下度候／山本〔二峯〕／廿三日

／博文堂様

・備考 差出年は消印による。

46 大正八年（一九一九）一月六日（WH2-006-6）

・消印 〔判読不明〕／8.1.9／〔判読不明〕

・封筒表書 〔以下墨書〕大阪市西区靱上通り／二丁目

博文堂／原田庄左エ門〔大観〕殿

・封筒裏書 〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／伊

東町松原／海山仙館／山本悌二郎〔二峯〕

・本文 〔以下墨書〕賀正／羅〔振玉〕氏よりの金石類

目録未着／尔〔に〕候へども土俑類尔〔に〕は一見し

多〔た〕る／処格別の珍品も無之様存／ぜられ候ニ付

是者〔は〕一々書き上げ／の必要無之唯多〔だ〕壺類

尔〔に〕一二／点目星しきもの有之しや尔〔に〕記臆

／寿〔す〕るのみ尔〔に〕御坐候／趙仲穆〔趙雍また

は趙穆か〕山水幅及董其昌書／幅の二点者〔は〕羅〔振

玉〕君出発迄尔者〔には〕／交渉を纏められ度御配慮

願／入候も又多〔た〕黄大癡〔公望〕山水巻も／同様

御依頼申上候董北苑〔源〕者〔は〕／他へ売却の前尔

者〔には〕一応御通／知も煩し度存候／過般長尾〔雨

山〕君帰洛〔京都〕の御画／巻三点鑒定の為め托し置

き／候ニ付御序の節羅〔振玉〕君を煩し／宜しけれ者

〔ば〕羅〔振玉〕君へ跋なり題籤なり依／頼以多〔いた〕し度御願申上候／先年羅〔振玉〕君より購入せし高価の品の中未多〔だ〕同氏〔羅振玉〕の籤／なり跋なり全然無之もの十余／点有之右者〔は〕同氏〔羅振玉〕出発前ル〔に〕／是非一筆残し置可〔か〕れ度冀／望以多〔いた〕し候右予め羅〔振玉〕氏へ／御申込置可〔か〕れ度候／富岡〔謙蔵〕君の逝去者〔は〕誠ル〔に〕惜／むべき事ル〔に〕存候マダ左様の／話も有之間敷候へども万一同／君〔富岡謙蔵〕生前の遺愛品他へ譲／渡の相談ル〔に〕ても起り候節者〔は〕／小生〔山本二峯〕へも御通知を煩者〔は〕し度例の／仇英賺蘭亭圖の幅や／王石谷〔翬〕卷〔羅〔振玉〕君の旧蔵〕／又者〔は〕王廉州〔鑑〕四屏幅〔着色〕／等者〔は〕御取も目星しき品と存候／但し老人〔富岡鉄斎〕生存中者〔は〕売却／の意思も有之間敷存じ候へ／ども万一同の場合他人ル〔に〕出し／抜可〔か〕れざる様御手配肝要と／存候／勿々／一月六日／山本〔二峯〕／原田〔大観〕君／小生〔山本二峯〕者〔は〕十一日頃当地出發帰／宅の予定ル〔に〕御坐候

・備考 差出年月は消印による。

47 大正八年（一九一九）一月十六日（WH2-006-7）

・消印 三田／8.1.16／后□-10

・封筒裏書〔以下墨書〕大阪市西区靱上通二丁目／博文堂／原田庄左エ門〔大観〕殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正（一字アキ）年一月十六日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田台町壹丁目貳番地／電話長芝五四三番

・本文〔以下墨書〕拜啓羅〔振玉〕君書画代金／本日支払の約束の処／当方金融の都合上／全部者〔は〕六ヶ敷様ル〔に〕／存ぜられ候ニ付右予め／御含置被下度本日中／支払金額の確多〔た〕る処者〔は〕／追て御通知可申上候へ共／不取敢右のみ申進候／従てアト品の御送付者〔は〕暫時御見合被下度候／山本〔二峯〕／一月十六日／博文堂主人〔原田大観〕殿／右様の次第二付貴方〔原田大観〕の／董其昌郭河陽〔熙〕二点の／代金もモウ少々先きの／支払ル〔に〕相願ひ候外無之／是亦承引願入候

・備考 差出年月は消印による。

48 大正一二（一九二二）六月一〇日（WH2-006-8）

・消印〔判読不能〕／12.6.10／后2-4

・封筒表書〔以下墨書〕大阪市西区靱上町二丁目／原田庄左エ門〔大観〕殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大正「一字アキ」年六月十日／山本悌二郎〔二峯〕／東京府荏原郡目黒村大字上目黒二六五八／電話芝五四三番

・本文〔以下墨書〕顔世清も又多〔た〕来朝以多〔いた〕し候小生〔山本二峯〕者〔は〕／未多〔だ〕面会せ奉〔ず〕／拜啓度々御書面尔〔に〕接／し候処政党の用向尔〔に〕て／各地へ出張旅行以多〔いた〕し／居り候為め御回答相後れ／申候梁楮の件者〔は〕親しく／御目尔〔に〕掛り御相談致さ／ね者〔ば〕小生〔山本二峯〕一存尔〔に〕て者〔は〕決定／以多〔いた〕し兼ね候ニ付支那の／御旅行の前尔者〔には〕ドウセ／一度者〔ハ〕東京へ御上京／の事と存じ候へ者〔は〕其節／御協議致度存候／不取敢右申進候／勿々／十日／山本〔二峯〕／原田〔大観〕君／羅〔振玉〕氏の品者〔は〕ポツ、文／求堂其他の手を経つ売／物尔〔に〕出で居り候而し今／迄の処尔〔に〕ては売れ不申候
・備考 差出年月は消印による。

49 大正一二年（一九一三）十一月五日（B-87-122）

・消印〔判読不能〕／12.12.3／后2-4

・葉書外寸 縦一四・一センチ×横九・〇センチ

・葉書表書〔以下万年筆〕東京市小石川区指ヶ谷町／百四十七番地／原田耕三様方／原田庄左エ門〔大観〕様／〔以下青印、「開通」及び電話番号、日付はペン〕東京府荏原郡目黒村大字上目黒字〔字〕五本木二六五八／山本悌二郎〔二峯〕宅／開通／電話高輪四七七二／一二月二日

・本文〔以下万年筆〕拜啓本日御ハガキ落手仕候然る／処当方主人〔山本二峯〕去る十一月卅日熊本地方へ旅行被成候て本月五日頃御帰／京の予定尔〔に〕候間右御承知被下度／猶ほ只今平野〔勇造〕様迄電話を以て御通知仕候貴方〔原田大観〕へ御言伝の程願／置候が念の為め右御案内申候

・備考 代筆。差出年は消印による。

50 大正一二年（一九一三）十一月五日（B-87-383）

・消印 東京中央／12.12.5／后□-□

・葉書外寸 縦一四・一センチ×横九・〇センチ

・葉書表書〔以下墨書〕小石川区指ヶ谷町／百四十七

／原田耕三様方／原田大観様／〔以下青印、電話番号と日付は墨書〕東京府荏原郡目黒村大字上目黒字〔字〕五本木二六五八／山本悌二郎〔二峯〕宅／電話番輪四七七二／一二月五日

・本文〔以下墨書〕拝啓只今電話を以て平野〔勇造〕様へ御言伝へ願置候が明六日午前／十一時丸ノ内有楽町台湾製糖／会社尔〔に〕て御面会致し度候間／此如御承知被下度右念の／為め申上候 勿々
・備考 差出年は消印による。

51 大正一五（一九二六）一〇月一八日（WH2-006-9）

・消印 東京□□／15.10.28／后8-9

・封筒表書〔以下墨書〕大阪市西区靱上通式丁目／博文堂／原田庄左ヱ門〔大観〕殿

・封筒裏書〔以下印刷、日付、氏名、「メ」のみ墨書〕

メ／大正十五年十月廿八日／山本悌二郎〔二峯〕／東京市麹町区有楽町一丁目一番地有楽館／台湾製糖株式会社／東京出張所／電話（丸ノ内）長一九一一／長一九二二／一九二三／一九三七／一九三八

・本文〔以下墨書〕拝啓藤井〔善助〕君より美術館〔有楽館〕／開館式の案内有之候二付小生〔山本二峯〕／

来月二日の夜尔〔に〕て一日間多〔だ〕け／京都へ出向き候由も難測／就て者〔は〕其の汽車尔〔に〕て一応大／坂へ直行し（大阪着は午前八時／半頃可〔か〕と存候）貴〔原田大観〕邸を御尋／ねして御話の書画拝見の上／直ち尔〔に〕京都へ逆戻りして／開館式へ参会致度存候／ソレとも京都尔〔に〕て降り旅／館尔〔に〕て貴君〔原田大観〕を待受け／申ても宜しく此の場合例／の木屋町の鶴糸尔〔に〕て御待／可申候右両様の中何れ／可〔か〕御便宜の方御回答被下度候／イツれ尔〔に〕しても小生〔山本二峯〕者〔は〕其晩の／夜行尔〔に〕て帰京の予定尔〔に〕／御坐候 勿々／廿八日山本〔二峯〕／博文堂主人〔原田大観〕殿

52 昭和二年（一九二七）三月四日（WH2-004-5）

・消印〔判読不能〕／2.34／后□-□

・封筒表書〔以下墨書〕兵庫県川辺郡川西町／寺畑字山畑七番／原田庄左ヱ門〔大観〕殿

・封筒裏書〔以下印刷、〔昭和貳〕は押印、日付、「メ」のみ墨書〕メ／昭和貳年三月四日／山本悌二郎〔二峯〕／東京府荏原郡目黒町大字上目黒二六五八／電話青山五六五八番

・本文〔以下墨書〕御手紙拝見仕候目下／政治方面の出費に追者〔は〕れ／道楽方面は暫く休業／以多〔いた〕し居候折柄ニ付高価の／買物は力及ばざる次第／に候へ共一応拝見の機会を／得ば本懐に存候火木土は／議会の開議日なれば是を／除く外の日ならばイツにても／前日御知らせ下され候者〔は〕ゞ／御待ち可申上候／山本〔二峯〕／四日／原田老台〔大観〕

53 〔年月不明〕月二〇日 (WH2-006-10)

・消印なし

・封筒表書〔以下墨書〕原田〔大観〕様

・封書裏書〔以下印刷、住所は押印、他は墨書〕大正

〔二字アキ〕年〔一字アキ〕月〔一字アキ〕日／山本
悌二郎〔二峯〕／東京府下上目黒五本木／電話高輪
四七七二番

・本文〔以下墨書〕拜啓両三日来旅行致し／居り候為め御回答遅延／以多〔いた〕し候仇英と文徵明の寸法左の如く尔〔に〕御坐候／文徵明老柏戲禽圖 水墨／高一尺八寸 広一尺九分／仇英梅花公主圖 設色／高四尺三寸六分／広一尺五寸三分／尚又焯〔燉〕 煌仏画の写真者〔は〕当／時仏画と共尔〔に〕参り居りしも

の／尔〔に〕て小生〔山本二峯〕手元尔〔に〕て撮影せし／め多〔た〕るもの尔〔に〕無之随て副本／無之候依て近日中至／急撮影せしめ送付致寿〔す〕／べく候／小生〔山本二峯〕上洛〔京都〕の儀者〔は〕議會を／目前尔〔に〕控へ多〔た〕る今日、トテモ／六ヶ敷く存候日曜日尔〔に〕別／尔〔に〕要事起らざれ者〔ば〕或者〔は〕繰／合せ付く可〔か〕ニも存じ候へ共／豈亦今日より予め確定／以多〔いた〕し兼ね候／廿日山本〔二峯〕／原田〔大観〕賢台

・備考 封筒裏書にある「東京府荏原郡目黒村大字上目黒／字五本木二六五八／電話芝五四三番」(印字)に×印をつけて訂正しており、昭和七年(一九三二)一〇月一日に荏原郡が東京市に編入された後の書簡であらう。

三 附徳富蘇峰宛山本二峯書簡

1 大正四年(一九一五)一月三日

・消印 三田／4.1.13／前11-12

京橋／4.1.13／后2-3

・封筒外寸 縦二一・七センチ×横九・〇センチ

・封筒表書〔以下墨書〕市内京橋区日吉町／民友社ル
〔に〕徳富猪一郎〔蘇峰〕様

・封書裏書〔以下印刷、年月日、「メ」のみ墨書〕メ／

大正三〔四〕年一月十三日／山本悌二郎〔二峯〕／芝

区三田台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・封書本紙外寸 縦一九・四センチ×横六九・一センチ

・本文〔以下墨書〕拝啓愈々御清勝／奉賀候陳者キ社

／御発刊之日本書記〔紀〕／御恵贈被下難有／拝見仕

候誠ニ珍敷／もの永く珍重可仕候／右不取敢以書中／

御礼申上候／如此御座候／頓首／一月十三日／山本悌

二郎〔二峯〕／〔徳富〕蘇峰先生／研北

2 大正四年〔一九一五〕十一月三日

・消印 三田／4.11.25／前10-11

京橋／4.11.25／后1-2

・封筒外寸 縦二一・四センチ×横八・九センチ

・封筒表書〔以下墨書〕京橋区山下町／国民新聞社／

徳富猪一郎〔蘇峰〕

・封書裏書〔以下印刷、日付、「メ」のみ墨書〕メ／大

正四年十一月廿三日／山本悌二郎〔二峯〕／芝区三田

台町壹丁目貳番地／電話芝五四三番

・封書本紙外寸 縦一九・五センチ×横五九・二センチ

・本文〔以下墨書〕謹啓過般陞位／之節ハ早速御丁重

／御祝詞を賜り且つ美／事なる鮮魚御祝／仕候御懇情

難有／奉謝候小生〔山本二峯〕御大典／尔〔に〕参列

中尔〔に〕て御延引／右御礼申上度／如此御座候／拝

具／十一月廿三日／拝具／山本悌二郎〔二峯〕／徳富

猪一郎〔蘇峰〕様

・備考『官報』大正四年〔一九一五〕十一月一〇日号

外の「叙任及辞令」の項に、「叙正六位」とある。

3 昭和二年〔一九二七〕九月一日

・消印 目黒／2.9.16／后0-2

・封筒外寸 縦一八・一センチ×横八・八センチ

・封筒表書〔以下墨書〕府下荏原郡入新井／二八三二

／徳富猪一郎〔蘇峰〕殿

・封書裏書〔以下墨書〕メ／上目黒五本木／山本悌二

郎〔二峯〕〔封筒下側に「20.6.23 ス」〕と鉛筆で書

入あり

・封書本紙外寸 縦二三・七センチ×横二一・六センチ

・本文〔松竹斎製箋〕、以下墨書、一枚目〕拝啓十五

日夕刊国民新聞所載／の御高評拝読仕候過譽不敢当／

とは申な可〔が〕ら而可〔か〕も亦多〔た〕天涯知己
／に逢ふの感無くんばあらず澄懷堂書／画目錄は数年
前より小生〔山本二峯〕自ら執筆致し居り此頃脱藁
以多〔いた〕し候ニ付其中申上／〔二枚目〕版〔誤字
あるいはこの前にもう一箋存在したか〕の積りに御坐
候是亦其節御批評を／仰き可申候不取敢御礼申上度／
如斯御坐候／丁卯〔昭和二年、一九二七〕九月十五日
／山本悌二郎〔二峯〕／〔徳富〕蕪峯老兄

4 昭和三年〔一九二八〕十一月

・封書本紙外寸 縦一七・六センチ×横一一・六センチ
・本文〔以下「徳富猪一郎」以外は印字〕拜啓愈御清
祥奉賀候陳者本年ハ吉田松陰先生七十年忌辰ニモ相当
リ／候ニ付本月十八日京都帝国大学内尊攘堂ニ於テ同
先生及ビ該堂創立／者品川弥二郎先生始メ勤王烈士ノ
特別祭典ヲ執行致候間何卒御繰合／セノ上当日午後一
時ヨリ同四時マテノ間ニ御参拝被成下度此段御案／内
申上候 敬具／昭和三年十一月／尊攘堂祭典委員長 山
本悌二郎〔二峯〕／同 副委員長 荒木寅三郎／徳富猪
一郎〔蘇峰〕殿／追而御参拝ノ節ハ本状受付ニ御差出
シ被下度候／当日午後二時ヨリ同学内大講堂ニ於テ徳

富猪一郎氏ヲ招聘シ吉田松陰先生ニ関スル／記念講演
会開催致シ又図書館閲覧質ニ於テハ午後四時迄遺品展
覧会開催シ申候／翌十九日ハ午前九時ヨリ午後四時迄
右遺品展覧会ヲ開放致シアリ候ニ付前日御差支／ノ節
ハ当日御来觀被下度候
・備考 案内状のみ

5 昭和五年〔一九三〇〕二月二三日

・封筒表書〔以下万年筆〕麹町区有楽町一ノ二／東京
日々新聞社／徳富猪一郎〔蘇峰〕殿
・封書裏書〔以下万年筆〕東京駅ホテルニテ／山本悌
二郎〔二峯〕／二月廿三日
・本文〔以下万年筆〕貴〔徳富蘇峰〕電難有拝承ナン
ニシロ今回の選挙〔昭和五年〔一九三〇〕二月二〇日
の第一七回衆議院議員総選挙〕は曾てありし大隈〔重
信〕内閣／の干渉よりは更に々々一層深刻向ふには白
刃を持たセコチラは／双手を縛つてサあ勝負をしろと
云ふ様な訳にてコレが全国的であつた以／上政友会の
敗戦も御諒察可被下候／山本〔悌二郎〕／〔徳富〕蘇
峯老兄／蹉跎猶不悔惟奈此蒼生道已委塵土民難飽粥錫
伊周逃／壑沢莽卓列公卿且去買薰櫝南畦犁雨耕／落選

二首ノ一／悌〔山本二峯〕

- ・備考 徳富蘇峰記念館所蔵の中島司『蘇峯先生宛故人書翰写』第二冊（昭和二〇年〔一九四五〕五月一日、複写）所収。欄外に「昭和五年」とあり。

6 昭和七年（一九三二）頃

- ・封筒表書〔以下万年筆〕府下荏原郡入新井町新井宿二八三二／徳富猪一郎〔蘇峰〕様／恵展
- ・封書裏書〔以下万年筆〕上目黒五本木／山本悌二郎〔二峯〕

- ・本文〔以下万年筆〕千年清閑五朝琛仏洞石渠馳使尋一管窺天良可戒群盲評／鼎毎為歳凡懷慙我空追古月且欽君独歩今世有知音心足／慰伯牙未用断孤琴／拜寄并謝澄懷堂書画目錄評論蘇峰先生一絮／悌〔山本二峯〕
- ・備考 徳富蘇峰記念館所蔵の中島司『蘇峯先生宛故人書翰写』第三冊（複写）所収。欄外に、「昭和七年」とあり。山本悌二郎〔二峯〕『澄懷堂書画目錄』（文求堂書店）は昭和七年（一九三二）三月二五日の発行であり、本書簡はそれ以後に記されたものと見られる。

7 昭和一一（一九三六）年二月二五日

- ・消印 中目黒／11.2.26／后4-8
大森／11.2.26／后8-12
- ・封筒外寸 縦二一・六センチ×横八・四センチ
- ・封筒表書〔以下墨書〕大森区山王一ノ二八三二／徳富猪一郎〔蘇峰〕様〔氏名側に「速達」五〇三〕とあり
- ・封書裏書〔以下墨書、「緘」と目付以外は印字〕緘／廿六日／東京市目黒区上目黒五丁目二・六五八番地／山本悌二郎〔二峯〕／電話青山五、六五八番
- ・封書本紙外寸 縦二三・六センチ×横二一・一センチ
- ・本文〔無印便箋、以下墨書、一枚目〕拜啓此度は格別の御同情御推薦／を辱ふし衷心感銘罷在候御蔭に／依り首尾善く当選〔昭和十一年（一九三六）二月二〇日の第一九回衆議院議員総選挙〕本日確定通／知に接し申候右御報告旁々不取敢／御礼迄如斯御坐候／悌〔山本二峯〕／二月廿五日／徳富〔蘇峰〕先生／別箋御笑草までに／拝似〔辞〕／〔二枚目〕舟中作／翠螺隠頭大濤有曉得兩津寒碧湾／雪色連天峯影沒難看金北旧孱顔／帰郷感懷／世路崢嶸馬不前帰節愧対旧山川／故交凋落新交寡白髮回頭一泫然

8 昭和十二年〔一九三七〕一月二二日

・消印〔判読不能〕／12.1.21／后4-8

・封緘葉書外寸 縦一二・八センチ×横七・七センチ（開いた状態では横一五・四センチ）

・私製封緘葉書 〔KOSHIE HOTEL JAPAN〕と記載あり、以下万年筆〕東京市丸ノ内有楽町／東京日々新聞社気付／徳富猪一郎〔蘇峰〕殿／西宮市ニテ／山本悌二郎〔二峯〕

・本文〔以下墨書〕前畧／弟〔原〕鉄三郎死去ニ就き早速／御慰問の御芳書を賜者〔は〕り／御同情感謝仕候昨日当地／にて埋骨を了シ小生〔山本二峯〕も一両日／中帰宅可仕候不取敢御礼／迄如斯御坐候／葬弟白雲黄樹辺後先失／序亦因縁青山対爾慇懃／間一角迎吾応幾年／悌〔山本二峯〕／〔徳富〕蘓峯先生一粲

【附記】

本稿執筆に際し、行田市郷土博物館、徳富蘇峰記念館及び個人より資料提供を受けた。記して御礼申し上げたい。本稿はJSPS科研費二四K〇三四九二の助成を受けたものである。

（本学准教授）